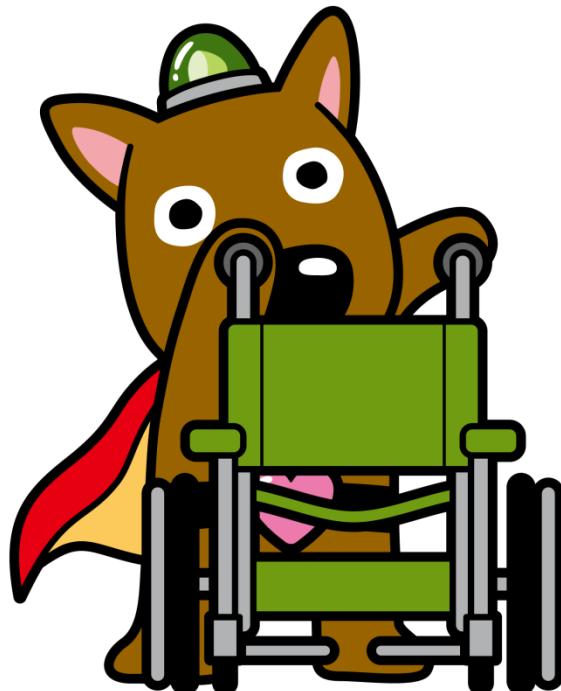


2

平成28年度
事 業 報 告 書



丸亀市社会福祉協議会

公式キャラクター「オルデ」

社会福祉法人 丸亀市社会福祉協議会

目 次

総括		1
重点項目	I. 地域づくりの推進	2
	1. 地域づくり推進事業	2
重点項目	(1) 「丸亀市第二次地域福祉計画・地域福祉活動計画（みんなのふくし丸亀プラン）」の推進	
	(2) 共助の基盤づくり事業の実施	
新規事業	(3) 生活支援体制整備事業	
	(4) ふれあい相談センター事業（無料専門相談事業）	
	(5) 地区コミュニティとの連携による住民参加活動	
	(6) 社会福祉大会の開催	
	2. ボランティア活動推進事業	15
	(1) 広報・啓発活動	
	(2) ボランティアセンター事業	
	(3) ボランティア保険の加入促進	
	(4) 住民へのボランティア活動の促進	
	(5) 災害ボランティアセンター活動事業	
	3. 地域サポート事業	19
新規事業	(1) 車いす貸出事業	
	(2) イベント機材・体験グッズ貸出事業	
	(3) 福祉車両貸出事業	
	(4) 育児用品貸出事業	
重点項目	4. 生活困窮者自立支援事業（丸亀市自立相談支援センターあすたねっと）	22
	(1) 自立相談支援事業	
	(2) 家計相談支援事業	
	(3) 香川おもいやりネットワーク事業（おもいやりネットまるがめ）	
	(4) 助け合い金庫貸付事業	
	(5) 生活福祉資金貸付事業	
	5. 成年後見推進事業（後見センターまるがめ）	32
	(1) 法人後見推進事業	
	(2) 市民後見推進事業	
	(3) 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）	
	6. ファミリー・サポート・センター事業	38
II. 共同募金助成事業		41
	1. 広報・啓発活動事業	41
	2. 移動販売支援事業（買物支援事業）	43
	3. 子ども防災体験プログラム事業	43
	4. サロン整備事業	44
	5. 生活困窮者世帯等に対する支援事業	44
重点項目	III. 社会福祉関係団体との連携・支援	45
	1. 共同募金・歳末たすけあい運動の実施（丸亀市共同募金委員会事務局）	45
	(1) 赤い羽根共同募金運動	
	(2) 共同募金運動助成事業並びに地域歳末見舞金給付事業	
	(3) テーマ募金活動	

2. 民生委員児童委員活動への協力（丸亀市民生委員児童委員協議会連合会事務局）	47
3. 福祉ママ会議活動への協力（丸亀市福祉ママ会議連合会事務局）	48
4. 身体障がい者活動への協力及び障がい者団体の活動支援 （丸亀市身体障害者福祉協会事務局）	48
5. 社会福祉関係団体等との連携強化	48

重点項目 IV. しおや保育所の安定経営 49

1. 通常保育	49
(1) 在籍児童数の状況	
(2) 土曜保育の状況	
2. 特別保育	50
(1) 一時預かり事業	
(2) 延長保育事業	
(3) 障がい児保育事業	
3. 地域活動事業	51
4. 地域貢献活動事業	52
5. 多文化共生事業	52
6. しおや保育所あり方検討 (1) しおや保育所運営委員会	53
(2) 二者懇談会の開催	

新規事業
新規事業
新規事業

重点項目 V. 介護サービス事業の安定経営 54

1. 介護保険事業	54
(1) 指定訪問介護・介護予防訪問介護事業（ホームヘルパー）	
(2) 地域密着型通所介護・介護予防通所介護事業（デイサービス）	
(3) 指定訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護事業（入浴車による家庭入浴）	
(4) 指定居宅介護支援事業（ケアマネジャー）	
(5) 介護予防支援事業（介護予防ケアマネジャー）	
2. ホームヘルプサービス事業	58
(1) 老人ホームヘルプサービス事業	
(2) 子育てホームヘルプサービス事業	
(3) 介護保険外訪問介護サービス事業	
3. 障害福祉サービス事業	59
(1) 居宅介護事業（障がい者ホームヘルパー）	
(2) 重度訪問介護事業（障がい者ホームヘルパー）	
(3) 同行援護事業（視覚障がい者ガイドヘルパー）	
(4) 移動支援事業（ガイドヘルパー）	
4. 研修会の実施・参加	59
5. 福祉サービス苦情解決事業	60

VI. 指定管理施設（丸亀市保健福祉センター事業）の運営 60

1. 丸亀市保健福祉センター事業	60
(1) 丸亀市保健福祉センター（ひまわりセンター）	
(2) 丸亀市綾歌保健福祉センター	
(3) 丸亀市飯山総合保健福祉センター	
(4) 各施設の対応状況	

VII. 収益事業による財源確保	63
1. 自動販売機による財源確保	63
重点項目 VIII. 経営体制の強化	64
新規事業	
1. 経営組織のガバナンスの強化	64
(1) 理事会・評議員会構成の見直し	
(2) 理事会、評議員会との意見交換	
(3) 内部プロジェクト委員会の充実	
新規事業	
2. 財務規律の強化	66
(1) 会計処理における内部管理体制の強化及び現金等取り扱いの厳格化	
(2) 信頼される会計及び法改正に伴う組織経営指導	
新規事業	
3. 職場の環境づくりと人材育成	67
(1) 働きやすくやりがいを感じられる職場づくり	
(2) 人材育成	
4. 民間財源と積立金の状況	76
(1) 寄付金収入状況	
(2) 会費収入状況	
(3) 共同募金助成金状況（地域福祉推進費）	
(4) 積立資産と繰越金の状況	
5. 社協らしい広報戦略の展開	79
(1) 広報誌「かけはし」の充実	
(2) 社協キャラクター「オルデ」の有効活用	
(3) プレスリリースマニュアルの整備	

平成28年度事業報告

総 括

少子高齢化の急速な進展や核家族化など家族形態の変化や、生活様式が多様化する中で、住民相互のつながりは益々希薄化しています。また、孤立死・孤独死やひきこもり、虐待、経済的困窮など、地域が抱える生活課題は、深刻な社会問題となっています。さらに「制度の狭間」と言われるような制度サービスだけでは対応できない課題への対応など、生活課題や福祉課題は山積しています。

こうした中、本会では、誰もが年齢や性別、障がいの有無などにかかわらず、住み慣れた地域で安全に安心して暮らすため、コミュニティや自治会などの地域組織をはじめ、行政、社会福祉法人施設、ボランティア団体、NPO法人などの様々な組織と連携しながら事業を推進しました。

地域づくりの推進では、「丸亀市第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画（みんなのふくし丸亀プラン）」の推進のためプロジェクト委員会を設置し、今後の新たな事業の取り組みも含めた検討を行いました。また、小地域ネットワーク活動事業では、地区ごとの福祉協力員情報交換会に参加するとともに、各地区の民生委員児童委員定例会に地区担当職員が参加し、地域福祉を進める上での課題点や疑問点などについて意見交換することで、問題の解決に努めました。

生活困窮者自立支援事業では、相談者が抱える生活の悩みは複合化しており、を相談支援員が丁寧に聞き取り、関係機関と連携しながら包括的・継続的な寄り添い型の支援を行い、時間をかけて一つひとつの問題解決に取り組みました。また、成年後見事業や生活福祉資金貸付事業、日常生活自立支援事業、無料法律相談事業等の相談窓口一本化を進めるため、プロジェクト委員会を立ち上げ検討した結果、次年度において新たに相談支援課を設置し、ワンストップで相談対応ができる「相談支援窓口あすたねっと」を開設することとなりました。

しおや保育所の安定経営では、年度途中での産休・育休取得職員の代替保育士の確保が困難であり人手不足の状態が続いたことから、土曜保育や特別保育を縮小せざるを得ず、保護者の理解を求めながら事業を進めました。

介護サービス事業の安定経営では、今後の介護事業のあり方について、プロジェクト委員会で議論を重ね、通所介護事業を終了しました。今後は、訪問介護事業や障がい福祉サービス事業に注力し、介護サービスを必要とする利用者のニーズに応えた事業展開を進めています。

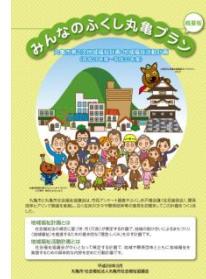
重点項目 I. 地域づくりの推進

1. 地域づくり推進事業

重点項目 (1) 「丸亀市第二次地域福祉計画・地域福祉活動計画（みんなのふくし丸亀プラン）」の推進

今年度よりスタートした「丸亀市第二次地域福祉計画・地域福祉活動計画（みんなのふくし丸亀プラン）」を推進するため、課題別プロジェクト委員会「みんなのふくし丸亀プラン推進委員会」において、協議を重ねました。

初年度は、どのようにして住民や関係機関に周知するか等、計画の配布先や周知方法について協議するとともに、今後の新たな事業の取り組みについての意見交換を行いました。



年月日	回	主な協議内容
28. 4. 14	第1回	<ul style="list-style-type: none">・委員会組織について・資料説明について・広報周知について
5. 12	第2回	<ul style="list-style-type: none">・報告事項について（第1回報告書、印刷物納品日程）・広報周知について（配布先、周知方法）
6. 9	第3回	<ul style="list-style-type: none">・報告事項について（第2回報告書、計画配布状況）・広報周知について（配布先、周知方法）
7. 21	第4回	<ul style="list-style-type: none">・報告事項（第3回報告書）・広報周知について（進捗状況）
8. 18	第5回	<ul style="list-style-type: none">・報告事項（第4回報告書、広報周知について進捗状況）・協議事項（広報周知について、今後の進め方）
9. 14	第6回	<ul style="list-style-type: none">・報告事項（第5回報告書、広報周知についての進捗状況）・協議事項（広報周知について、今後の進め方）
10. 19	第7回	<ul style="list-style-type: none">・報告事項（第6回報告書、広報周知についての進捗状況）・協議事項（広報周知について、今後の進め方）
11. 10	第8回	<ul style="list-style-type: none">・報告事項（第7回報告書、広報周知についての進捗状況）・協議事項（広報周知について、今後の進め方）
29. 1. 13	第9回	<ul style="list-style-type: none">・報告事項（第8回報告書、進捗状況）・協議事項（広報周知について、今後の進め方）

(2) 共助の基盤づくり事業の実施

①たすけあいサービス事業

同じ地域に住む住民が、生活上のちょっとした困りごとを支援し、互いに支え合い協力し合って、いつまでも安心して暮らせるための助け合いの仕組みづくりを推進しました。今後は、事業実施地区の拡大とともに事業内容の充実が課題となっています。

会員登録状況

(単位：名)

項目	飯山南	飯山北
利用会員	7	2
協力会員	8	4
合 計	15	6

活動実績状況

(単位：件)

項目	飯山南	飯山北
庭・室内の清掃	6	
買い物等代行		
合 計	6	-

※飯山南は平成25年12月から、飯山北は平成26年4月から事業開始

②高齢者外出支援事業

飯山地区において、閉じこもりがちな高齢者に対し、自宅から入浴施設までマイクロバスで送迎する外出支援事業を実施しました。

③小地域ネットワーク活動事業**<職員の地域担当制によるコミュニティソーシャルワーク（CSW）の推進強化>**

民生委員児童委員を中心に、福祉ママ・福祉協力員等が各地区において開催する情報交換会（小地域ネットワーク会議）に地域担当職員が参加しました。本年度は、5地区延べ7回の会議に参加し、福祉情報の提供を行うとともに、地域が抱える福祉ニーズや福祉課題について意見交換を行いました。また、地区担当職員が地区民児協に参加し、情報交換することで、顔の見える関係づくりに取り組みました。

小地域ネットワーク会議

(単位：回)

地 区	回 数	地 区	回 数	地 区	回 数
城 北	1	城 坤	1	岡 田	1
城 乾	3	飯 野	1	合 計	7

地区民児協定例会

(単位：回)

地 区	回 数	地 区	回 数	地 区	回 数
城 北	7	郡 家	7	広 島	6
城 西	1	垂 水	7	本 島	5
城 乾	6	川 西	8	綾 歌	5
城 坤	7	飯 野	9	飯 山	7
城 南	4	土 器	7	合 計	86

④一人暮らし高齢者友愛訪問活動**(ア) 一人暮らし高齢者友愛訪問花鉢プレゼント事業**

民生委員児童委員の協力のもと、丸亀市内在住の一人暮らし高齢者（70歳以上）の誕生日に訪問活動を行いました。季節の花のプレゼントを手渡し、声掛けを行うことで、顔の見える関係づくりや信頼関係を深めることができました。

【対象者数2,822名】 ※前年度2,777名

(単位:名)

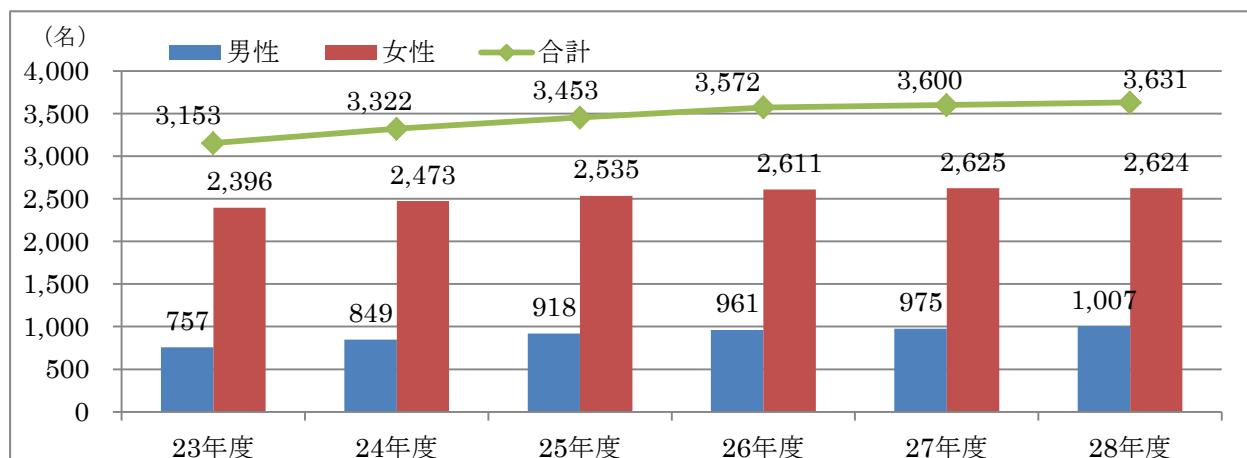
月	花名	対象者数	月	花名	対象者数
4月	アリムラ・サクラソウ	202	10月	日々草・サルビア・パンジー	242
5月	サルビア・ペチュニア	167	11月	ビオラ・冬しらず・パンジー	243
6月	メランゴン・ユーム・ナデシコ・コリウス	142	12月	ビオラ・冬しらず・ラベンダー	175
7月	サルビア・コリウス・エキザカム	206	1月	アリムラ・冬しらず・パンジー	369
8月	ペゴニア・ヒポエヌス・ナデシコ・インペチヌス	226	2月	パンジー・アリムラ・ティソジー	286
9月	マリーゴールド・日日草・コリウス	230	3月	ビオラ・アリムラ・イリマ	334

(イ) 一人暮らし高齢者実態調査 (65歳以上) 調査: 平成28年7月

【平成28年7月調査分】民生委員児童委員調査

(単位:名)

地区 性別	男	女	計	地区 性別	男	女	計	地区 性別	男	女	計
城北	137	361	498	郡家	54	184	238	広島	19	52	71
城西	68	226	294	垂水	26	58	84	本島	22	54	76
城乾	94	183	277	川西	44	119	163	綾歌	81	197	278
城坤	135	408	543	飯野	31	59	90	飯山	133	298	431
城南	100	212	312	土器	63	213	276	合計	1,007	2,624	3,631



⑤寝たきり高齢者友愛訪問活動

(ア) 寝たきり高齢者友愛訪問 2回訪問: 平成28年7月・平成29年2月

福祉ママの協力により、在宅で介護を受けている寝たきり高齢者への訪問活動を実施しました。女性ならではのあたたかい声掛けやきめ細かな気配りにより、在宅介護者の見守り・支援活動に努め、大変喜ばれました。

(単位:名)

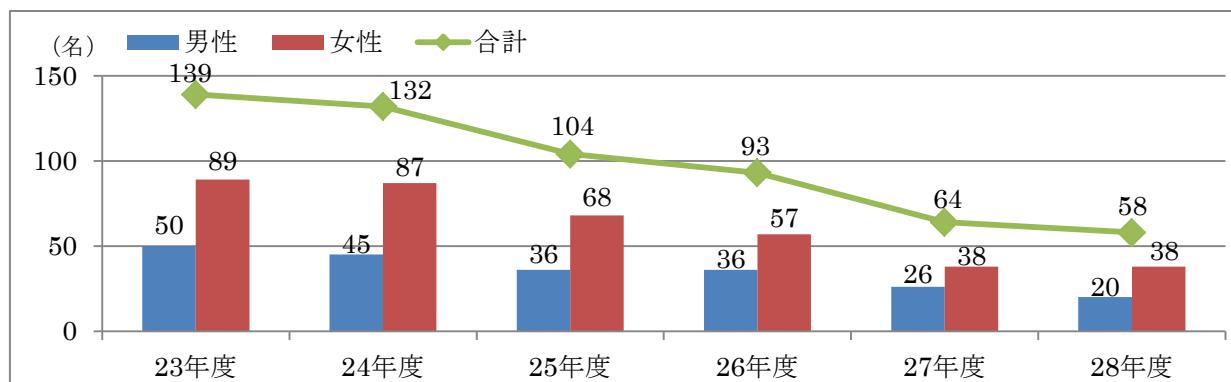
年月	内 容	対象者数
28. 7	60歳以上在宅寝たきり高齢者友愛訪問 (上期)	62
29. 2	60歳以上在宅寝たきり高齢者友愛訪問 (下期)	58

(イ) 寝たきり高齢者実態調査（60歳以上）2回調査：平成28年6月・平成29年1月

【平成29年1月調査分】福祉ママ調査

(単位：名)

地区	性別	男	女	計	地区	性別	男	女	計	地区	性別	男	女	計
城 北		1	1	2	垂 水					岡 田		3	3	6
城 西		1	1	2	川 西		2	2	4	栗 熊		1		1
城 乾		2	7	9	飯 野					富 熊		1	2	3
城 坤		4	9	13	土 器		1		1	飯 山 南		2	4	6
城 南			1	1	広 島					飯 山 北			4	4
郡 家		1	2	3	本 島		1	2	3	合 計		20	38	58



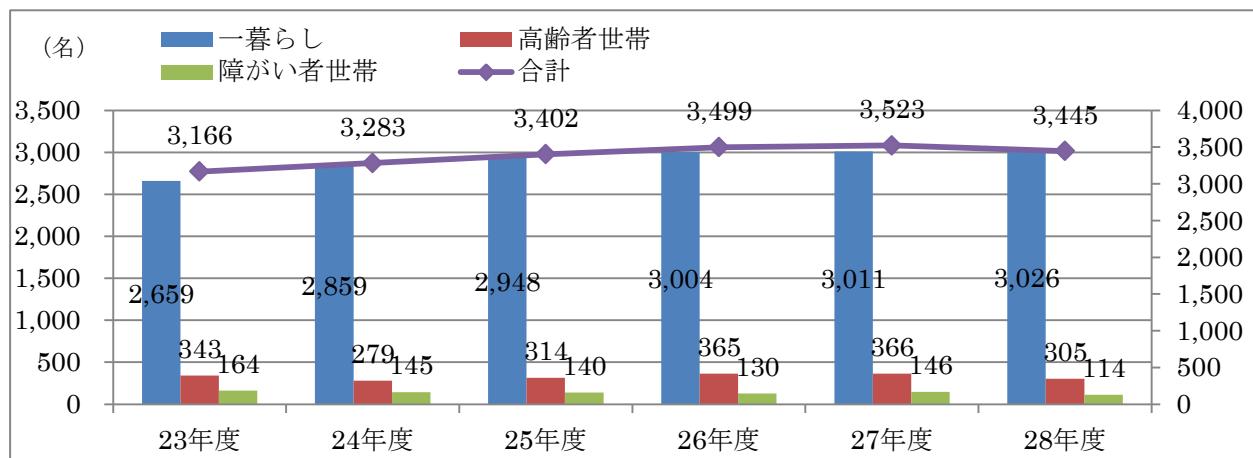
⑥災害時要援護者福祉マップの作成 調査：平成28年7月

地震・台風などの災害時に要援護者の安否確認が迅速に行えるよう、民生委員児童委員との協働で7月に調査を実施し、要援護者の状態把握や支援者の追加更新を行いました。

【平成28年7月調査分】民生委員児童委員調査

(単位：世帯)

地 区	一人暮らし世帯	高齢者世帯	障がい者世帯	合 計
城 北	410	58	20	488
城 西	264	37	9	310
城 乾	216	39	14	269
城 坤	518	17	17	552
城 南	221	9	2	232
郡 家	217	10	19	246
垂 水	74		1	75
川 西	110	4	5	119
飯 野	73	7	4	84
土 器	263	13	4	280
広 島	39	5		44
本 島	59	24		83
綾 歌	216	47	14	277
飯 山	346	35	5	386
合 計	3,026	305	114	3,445



⑦企業連携型巡回見守り活動事業

業務で家庭を訪問している企業と協定を結び、訪問時に異変を感じた時は、民生委員児童委員や本会に連絡する仕組みを構築し、早期発見・事故防止に努めています。

本年度は、連携企業から5件の安否確認依頼があり、対象エリアの民生委員児童委員と連携して自宅訪問や連絡確認を行い、対象者の安否確認に努めました。

⑧子育て世代支援事業（おやこカフェ）

子育て中のお母さん・お父さんが子どもと一緒に楽しむ機会づくりとして、親子で楽しめるプログラムを企画し、丸亀市レクリエーション協会・日本レクリエーション協会公認指導者 岩田理香氏のご指導のもと、事業を行いました。本年度も、引き続き主任児童委員と連携し、地域の子育て家庭へ主任児童委員の啓発活動を行いました。

(単位：組／名)

年月日	内 容	参加人数	場 所
28. 6. 25	簡単ランチをつくろう～ピラフ&キッシュ～	16／43	ひまわりセンター
8. 27	ミニ運動会	22／59	ひまわりセンター
11. 17	くり大福をつくろう	23／49	ひまわりセンター



包丁を持つ手にドキドキ



ふれあい体操

⑨一人暮らし高齢者等居場所づくり事業

一人暮らし高齢者世帯等の孤立化・孤独化を防止するため、各保健福祉センターに「ほっとサロン」を開設し、高齢者が気軽に集える場づくりや地域の仲間づくりを行いました。

(単位:名)

場 所	26年度	27年度	28年度
ひまわりセンター（3階囲碁・将棋室）	3,558	4,381	4,056
綾歌保健福祉センター（1階和室）	39	37	47
飯山総合保健福祉センター（2階ロビー）	266	212	254
合 計	3,863	4,630	4,357

⑩家具転倒防止器具設置支援事業

地震等の災害発生時に家具の転倒による被害軽減のため、80歳以上の一人暮らし高齢者世帯へ訪問し、家具転倒防止器具の無料設置を支援しました。平成24年度から実施している12地区に加え、新たに飯山南地区を加えた13地区で事業を実施しました。

器具の取り付けは、地域の民生委員児童委員・自主防災会・住民等が中心となり、本会職員と協働して事業を進めることで、新たな見守り活動の輪を広げることができました。

(単位:世帯)

地区名	対象世帯	設置世带
城 南	1	1
飯山南	87	13
合 計	88	14

※城南地区は、平成25年度に続き2回目の実施。



高齢者宅での器具取り付け（飯山南地区）

⑪生活支援配食サービス事業

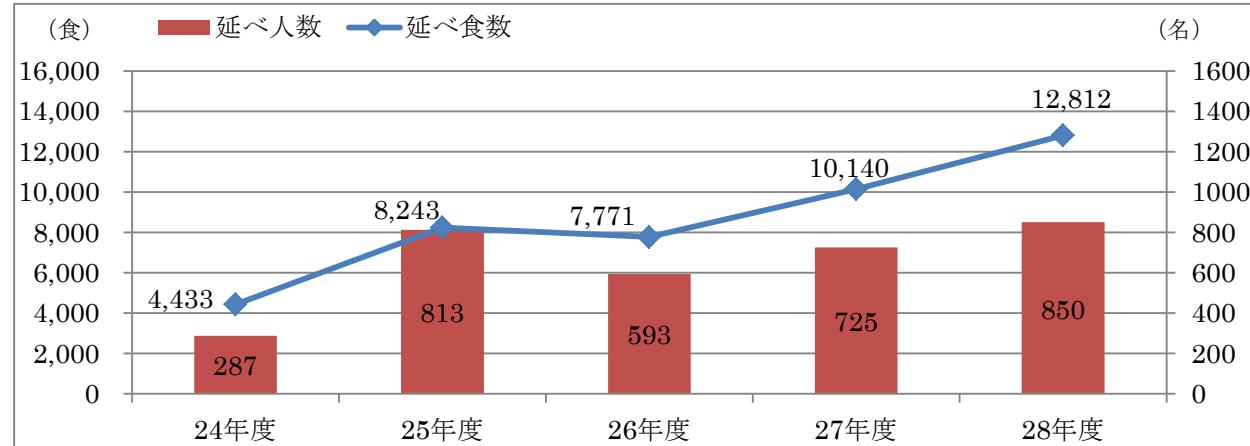
丸亀給食センターの協力のもと、調理を困難とする70歳以上の高齢者非課税世帯（要件①：要介護1以上の一人暮らし世帯、要件②：要支援1以上の高齢者のみの世帯）に、週5日間を限度とした昼食配達を行いました。

お弁当を手渡しすることによる安否確認や見守り活動を通じ、いつまでも住み慣れた自宅で暮らせるための生活援助サービスを実施しました。

利用状況と配食数

（単位：名／食）

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要件1	人数	21	24	22	35	22	24	24	25	21	21	22	23	284	
	食数	324	369	338	384	380	385	407	361	359	306	320	384	4,317	
要件2	人数	39	41	39	67	43	40	42	44	45	46	49	49	544	
	食数	620	620	611	630	709	681	719	736	764	709	755	863	8,417	
広島	人数	4	3	3	/	/	/	/	3	2	2	2	1	22	
	食数	15	12	6	/	/	/	/	12	8	4	8	5	78	
計	人数	64	68	64	102	65	64	69	71	68	69	73	73	850	
	食数	959	1,001	955	1,014	1,089	1,066	1,138	1,105	1,127	1,023	1,083	1,252	12,812	



⑫障がい児（者）活動援助事業

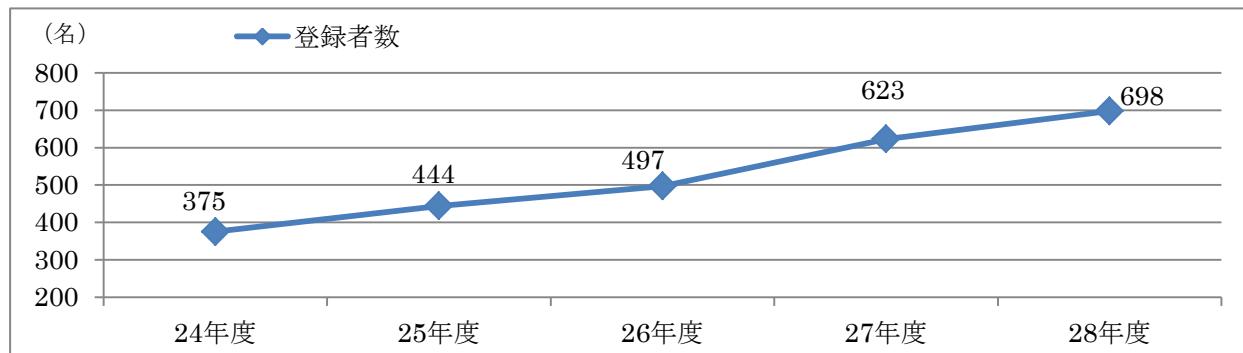
丸亀市身体障害者福祉連合協会の事務局を受託し、障がい者団体との協働を進めるとともに、障がい児（者）を対象とした「ふれあい・いきいきサロン」の立ち上げ支援や丸亀市障害者スポーツ大会の参加協力などにより親睦を深め、障がいへの理解促進に努めました。

⑬福祉情報メールの配信（情報♡ほっとメール）（登録者数 698名）

携帯電話等のメール機能を活用し、迅速により多くの方に福祉情報発信する仕組みを推進しました。丸亀市地域包括支援センター・丸亀警察署や民生委員児童委員・企業と連携した認知症高齢者の検索情報等の発信により、被害の防止や早期発見に努めました。

(単位:件)

内容\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
行方不明等	1							2			1	1	5



登録用QRコード



登録用アドレス

<http://adm.j.biz/subscriber/?storeId=269>

重点項目 ⑭認知症高齢者等見守りネットワーク事業

認知症高齢者等による行方不明が社会問題化するなか、丸亀市においても行方不明の事例が発生しています。認知症になっても安心して暮らせるまち丸亀を目指し、課題別プロジェクト「認知症高齢者等見守りネットワーク推進委員会」を立ち上げ、今後の支援体制づくりについて協議しました。

年月日	主な協議内容	
28. 4. 14	第1回	・今年度の取り組みについて（認知症講演会の開催、模擬訓練の企画・実施、情報♥ほっとメール登録者拡大）
4. 22	第2回	・城北コミュニティとの調整報告について（貸出し品について） ・情報♥ほっとメールについて
6. 2	第3回	・城北コミュニティの勉強会について ・情報♥ほっとメール普及について ・講演会等の開催について
8. 9	第4回	・城北コミュニティ認知症に関する勉強会の報告 ・情報♥ほっとメールの普及について
10. 13	第5回	・報告事項 ・今後の取り組み（情報♥ほっとメールの効果的な活用について、善通寺認知症徘徊者SOSネットワーク模擬訓練参加について）
12. 14	第6回	・報告事項（善通寺認知症徘徊者SOSネットワーク模擬訓練参加） ・今後の取り組み（認知症サポーター養成講座について）
29. 2. 15	第7回	・報告事項（認知症サポーター養成講座（職員向け）開催） ・今後の取り組み（情報♥ほっとメールの登録者拡大について）

⑯救急医療情報キット（安心キット）の設置事業

急病や災害時に意識を失うなど、もしものときに救急隊員が迅速な活動ができるよう、医療情報保管キットの無料配布を行いました。社協だより「かけはし」への掲載や、コミュニティ・民生委員児童委員との協働により、さらなる普及啓発に努めるとともに、既に設置している方には医療情報の更新を呼びかけました。

地区別登録者数

(単位：名)

地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数
城 北	657	飯 野	124	栗 熊	119
城 西	316	川 西	346	岡 田	222
城 乾	373	土 器	364	富 熊	144
城 坤	579	垂 水	92	飯山北	336
城 南	357	広 島	156	飯山南	192
郡 家	221	本 島	12	合 計	4,610



⑯ふれあい・いきいきサロン助成事業

高齢者・障がい児（者）等を中心に、身近で気軽に参加できる地域の集会場などでのふれあい・支え合いの場づくりを推進しました。新規サロン開設時には職員が参加して助言を行い、年2回の代表者交流・研修会においてサロン運営の進め方や情報交換を行うなど、住民が主体となって活動しやすい環境づくりに努めました。

交流・研修会の開催

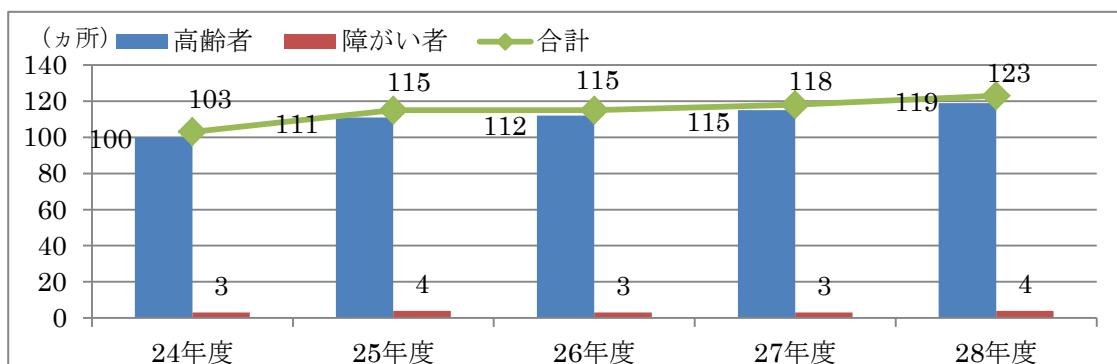
(単位：名)

年 月 日	内 容	参 加 人 数	場 所
28. 4. 8	『ヤクルトウン知育教室 ～ウンチは健康のバロメーター～』 香川ヤクルト販売㈱管理栄養士 長尾志津代氏	105	ひまわりセンター
10. 6	『歌って笑って若返り～音楽療法を使って～』 音楽療法士 三崎めぐみ氏	132	ひまわりセンター

地区別実施状況（うち職員訪問件数6ヶ所）

（単位：ヶ所）

地区	高齢者	障がい者	地区	高齢者	障がい者	地区	高齢者	障がい者
城 北	10		飯 野	10		栗 熊	8	1
城 西	2		川 西	5		富 熊	5	
城 乾	5		郡 家	3		岡 田	9	1
城 坤	9	1	垂 水	5		飯山南	15	
城 南	5		本 島	4		飯山北	7	
土 器	12	1	広 島	5		合 計	119	4



ピーチクラブ（飯山町）



明倫遊友サロン（土居町）

⑪見守りネット講演会の開催（福祉協力員研修会）

福祉協力員の福祉力向上を図るため、研修会を開催しました。講演会では、支援が必要になった高齢者も安心して暮らせる「地域づくり」のための見守り活動の重要性について、事例を交えてご紹介いただきました。サービスを新たに作るのではなく、茶話会や見守りなど日頃の支え合い活動を活かし、誰もが無理せず生活を支援できる仕組みづくりを学びました。

（単位：名）

年月日	内 容	参加人数	場 所
29. 3.18	「新しい地域支援事業を地域作りに活かすために」 ～どこでも出来る自分らしく暮らし続けるコツ～ 仙台白百合女子大学人間学部教授 大坂 純 氏	109 ・ 84	丸亀市保健福祉センター 綾歌総合文化会館 アイレックス



綾歌文化会館アイレックス



丸亀市保健福祉センター

新規事業 (3) 生活支援体制整備事業

介護保険制度改革によりサービスの見直しが行われ、要支援者の生活援助サービスは縮小されています。こうした中、高齢者の地域でのちょっとした生活の困りごとを支える仕組みづくりを推進するため、コミュニティごとの体制づくりを目指した住民説明会を開催しました。

(単位：名)

年月日	内 容	参加人数	地 区
28. 10. 22		12	飯山北
10. 26	・「みんなのふくし丸亀プラン（概要版）」説明	21	川 西
11. 19	・「話し合いの場・地域のお節介さんによる 住民主体助け合いの地域づくり」の説明	9	垂 水
12. 21		21	岡 田
29. 2. 22		13	栗 熊



飯山北地区



栗熊地区

(4) ふれあい相談センター事業（無料専門相談事業）

地域住民が抱える様々な問題解決のための助言として、弁護士・司法書士・介護支援専門員の無料相談窓口を設け、誰もが気軽に相談できる相談体制の充実に努めました。

①専門相談

弁護士相談（開設日数 36日）

(単位：件)

開催場所	開催曜日	開催時間	27年度	28年度
本 所	毎月 第2火曜日	午前9時～12時	68	50
綾歌分室	毎月 第3水曜日	午前9時～12時	44	29
飯山分室	毎月 第2木曜日	午前9時～12時	58	44
		合 計	170	123

司法書士相談（開設日数 12日）

(単位：件)

開催場所	開催曜日	開催時間	27年度	28年度
本 所	毎月 第4火曜日	午前9時～12時	36	38

介護相談（開設日数 12日）

(単位：件)

開催場所	開催曜日	開催時間	27年度	28年度
本 所	偶数月 第2水曜日	午前9時～12時		1
飯山分室	奇数月 第2水曜日	午前9時～12時		

②心配ごと相談

場 所	開催時間	場 所	開催時間	場 所	開催時間
本 所	随 時	綾歌分室	随 時	飯山分室	随 時

(5) 地区コミュニティとの連携による住民参加活動

①地区社協運営助成

小地域での福祉活動を推進するために必要な運営費を助成し、地区コミュニティと協働した地域福祉活動の充実を図りました。

(単位：円)

内 容	26年度	27年度	28年度
地 域 福 祉 推 進 事 業 助 成 金	1,374,065	1,362,185	1,354,650
共 同 募 金 助 成 金	2,592,000	2,563,000	5,373,000
福 祉 部 会 活 動 事 業 助 成 金	850,000	850,000	1,700,000
合 计	4,816,065	4,775,185	8,427,650

②コミュニティ会長・連合自治会長 県外研修会

本年度もコミュニティ会長・連合自治会長県外研修会を企画し、視察研修を行いました。

全国校区・小地域福祉活動サミットでは、民生委員児童委員、大学、社会福祉協議会等が地域住民と連携して取り組まれているまちづくりの事例について学びました。また、東近江市では、蒲生地区まちづくり協議会の取り組みや活動について意見交換を行いました。

今後の丸亀市における地域づくりのあり方を検討するための有意義な研修となりました。

(単位：名)

年月日	内 容	参加数	場 所
29. 1. 21 ～22	・第10回全国校区小地域福祉活動サミットinおかざき・西三河 ・蒲生地区まちづくり協議会視察	14	愛知県岡崎市 滋賀県東近江市

③地域自主防災組織・民生委員児童委員とのネットワーク強化

地域の防災訓練に参加し、自主防災会・消防団・地域住民の方々に、災害用造水機の取扱いや避難時の要支援者の介助方法等について説明しました。また、第2回コミュニティ協議会連合会防災訓練では、コミュニティ・行政等との災害時連携体制の強化に努めました。



地域の防災訓練に参加（栗熊）



コミュニティ協議会連合会防災訓練

（6）社会福祉大会の開催

11月4日（金）、丸亀市民会館において、第12回丸亀市社会福祉大会を開催しました。多年にわたり社会福祉の発展に貢献された方々の顕彰を行い、記念講演では、「4月施行の障害者差別解消法について～すべての人がともに生き生きと暮らせる社会へ～」と題し、DPI日本会議 崔 栄繁氏からご講演いただきました。

(単位：名／団体)

表 彰・感 謝	人 数	団体数
丸亀市社会福祉協議会会長 表彰	68	2
〃 感謝	5	10
丸亀市共同募金委員会会長 表彰	6	
〃 感謝		2

2. ボランティア活動推進事業

(1) 広報・啓発活動

社協だより「かけはし」やホームページによる様々なボランティア講座等の参加呼びかけや小学生を対象としたボランティア学習を行いました。学習会では、ボランティア団体の協力により、活動での注意点や活動の喜びなどを分かりやすく話していただきました。

また、本会職員が市内小学校を訪問し、車いすの使い方や目の不自由な方の移動介助の指導など、ボランティア活動の普及啓発に努めました。



ボランティア学習（点字サークル・ラブ）



車いすの使い方指導（城南小学校）

(2) ボランティアセンター事業

(単位:件／名)

市内で活動しているボランティア団体等の活動支援と住民への理解促進のため、ボランティア相談・登録を行いました。

区分	27年度	28年度
ボランティア相談	16	20
ボランティア登録	15	11

(3) ボランティア保険の加入促進

本会が窓口となり、ボランティア保険の加入受付を行いました。平成28年4月に発生した熊本地震等、災害ボランティア活動への関心は高く、多くの方にご加入いただきましたが、全体的な加入者数は、減少傾向にあります。

ボランティア保険加入状況

(単位:名／団体)

区分	人 数		団体数	
	27年度	28年度	27年度	28年度
1. 活動保険 (①)	1,228(3)	1,246(114)	42	48
団体 (内、災害ボランティア)	1,224(2)	1,234(109)	42	48
個人 (内、災害ボランティア)	4(1)	12(5)		
2. 行事保険 (②)	2,787	2,045	12	10
合 計 (①+②)	4,015(3)	3,291(114)	54	58

(4) 住民へのボランティア活動の促進

①こどもふくしへミナーの開催

川西地区自主防災会の協力により、市内小学生の親子を対象とした防災セミナーを開催しました。子どもたちでもできる災害時支援活動を体験することで、一人ひとりがお互いを思いやり、助け合うことの大切さについて学びました。

年 月 日	内 容	参加人数	場 所
28. 7. 30	<p>①ケガをしてしまった人を助けよう！Ⅰ • 心肺蘇生訓練～A E Dの正しい使い方～ • 移動介助～かんたんに担架を作る方法～</p> <p>②初期消火に挑戦してみよう！ • 消火器の使い方～水消火器で実践～</p> <p>③丸太切りに挑戦してみよう！ • ノコギリの使い方～力を合わせてチャレンジ～</p> <p>④集団生活を体験しよう • 飯ごう炊さん～みんなのカレーライス作り～</p> <p>⑤ケガをしてしまった人を助けよう！Ⅱ • 応急手当～身近にあるもので傷の手当～</p> <p>⑥紙で食器を作ってみよう！ • 紙食器つくり～身近な物で食器をつくろう～</p>	19組 ／ 52名	飯山総合保健 福祉センター



水消火器で消火訓練



みんなで作る飯ごう炊さん

②ふれあいワークキャンプの開催

今年度は新たに4つの福祉施設にご協力をいただき、7施設で中学生・高校生を対象とした体験学習を開催しました。

参加した生徒からは、「人の役に立つようなことをしたい」、「障がい者への考え方や意識が変わった」など、夏休み期間中の体験学習を通じて、ボランティア活動への理解促進と人を労わるやさしい心を育てる機会づくりを行いました。

(単位:名)

年月日	内 容	参加人数	協 力 施 設
28. 7. 21	夏やさい収穫体験にチャレンジ	7	萬象園
7. 29	高齢者・障がい者施設で夏祭りを盛り上げよう	5	うぶすな園
7. 31		8	今津荘
8. 10		5	紅山荘
8. 1~ 5	保育体験にチャレンジ	21	しおや保育所
8. 8・22	障がい者施設のレクリエーションにチャレンジ	4	香川県ふじみ園
8. 10・17・24	病院で受付にチャレンジ	22	香川労災病院



夏やさい収穫体験（萬象園）



施設で夏祭りを盛り上げよう（紅山荘）

③ふくしフェスティバルの開催

社会福祉活動への理解を深め、住民同士が互いに支え合い、「安心して暮らせる福祉のまちづくり」を進めることを目的として、第7回ふくしフェスティバルを開催しました。

障がい児（者）や高齢者等、様々な分野で福祉活動に取り組んでいる団体が参加し、それぞれの活動内容の啓発を行いました。

また、会場では熊本地震義援金の協力を呼びかけ、たくさんあたたかい思いやりが寄せられました。

(単位:名)

年月日	参加人数	場 所
28. 9. 22	2,300	綾歌総合文化会館アイレックス





ステージコーナー



バザーコーナー



体験コーナー



イザ！カエルキャラバン！

(5) 災害ボランティアセンター活動事業

近年多発する地震災害や豪雨災害など、自然災害に対する迅速な対応や事前の備えの重要性が増しており、東南海トラフ巨大地震に備えた防災・減災の取り組みは、喫緊の課題となっています。

本年度は、東日本大震災発生時に宮城県石巻市災害ボランティアセンターの立ち上げにも関わった、ピースボート災害ボランティアセンターから講師を招き、研修会を実施しました。

(単位:名)

年 月 日	内 容	参 加 人 数	場 所
28. 9. 9	災害ボランティア研修会	53	飯山総合保健福祉センター
9. 10	災害ボランティアセンター運営者研修会	41	



災害用非常食の試食



災害ボランティアセンター運営訓練

3. 地域サポート事業

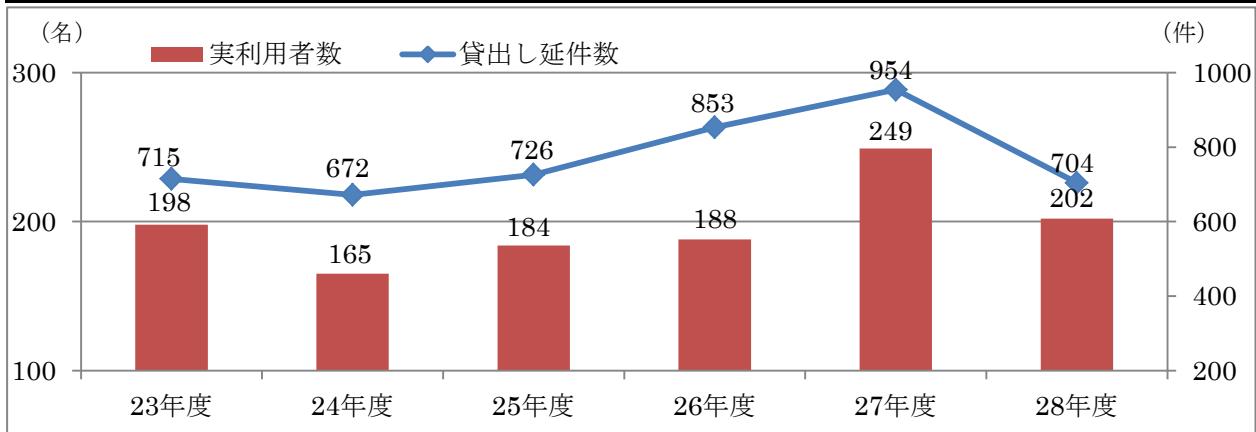
(1) 車いす貸出事業

要介護1以下の方や病気やケガなどで一時的に介助が必要となる方に車いすを貸し出すことで、在宅生活における介助負担を軽減し、通院などの外出時の利便性向上につなげました。

貸出状況

(単位：名／件)

区分	実利用者	貸出延べ件数
本 所	158	604
綾 歌 分 室	11	26
飯 山 分 室	33	74
合 計	202	704



(2) イベント機材、体験グッズ貸出事業

地域での住民同士の交流やコミュニケーション等の場作りのため、機材の貸出を行いました。体験グッズは、学校や地域等で実際に体験することで、高齢者や障がい者を思いやる福祉の心を育むきっかけとなりました。

貸出機材利用状況

(単位：件)

機 材	件数	機 材	件数	機 材	件数	機 材	件数
輪 投 げ	30	思い出カルタ	12	フリースタイル輪投げ	2	防災グッズカードゲーム	1
ダ 一 ツ	10	ジャンボサイコロ	1	カラオケマイク	2	省エネカルタ	2
ネットパットゴルフ	6	お魚カルタ	1	パターゴルフ	1	どうぶつえあわせ	4
ビ ン ゴ	11	新 十 扇	2	凡 リ ン グ	7	日本トランプ	5
D V D	21	紅 白 返 し	6	ジ ェ ン ガ A	1	ジ ェ ン ガ B	1
防災グッズカードゲーム	1	ゲーゴルゲーム	1	カラオケマイク	3	唱 歌	1

機 材	件数	機 材	件数	機 材	件数	機 材	件数
低床式玉入れ	3	ターゲットバードゴルフ	1	ストラックアウト	4	ビーンボーリング	2
簡単テント	16	パイプテント	32	長 机	12	丸 椅 子	4
パイプ椅子	11	フ ル ー シ ト	5	かき氷機 (電動・手動)	23	綿菓子機	19
ポップコーン機	9	お好み焼き鉄板	6	フライヤー	20	たこやき機	1
やきいも機	4					合 計	304

(平成27年度 252)

体験グッズ貸出状況

(単位: 件)

機 材 名	件 数	機 材 名	件 数
高齢者疑似体験セット	147	白 杖	20
点字付オセロ	37	聴覚障がい者体験セット	5
点 字 盤	40	視覚障がい者体験セット	15
視覚障害体験レンズセット	4	合 計	268

(平成27年度 209)

(3) 福祉車両貸出事業

外出が困難な市民に貸し出すことにより、通院や買い物など日常生活の便宜を図るとともに、行事の参加や行楽の機会を促進することを目的に貸出を行いました。

貸出車両利用状況

(単位: 件)

車 両	件 数
日 産 キャラバン 定員: 10人	2
ホンダ ステップワゴン 定員: 8人	2
ダイハツ ハイゼット 定員: 4人 (内、車いす1台乗車可能)	43
合 計	47



日産 キャラバン (10人乗り)



ダイハツ ハイゼット (4人乗り車いす1台乗車可能)

新規事業 (4) 育児用品貸出事業

平成28年4月より、次世代を担う丸亀市の子どもたちの健やかな成長をサポートするとともに、子育てにかかる経済的な負担軽減を目的に、乳幼児の保護者等にベビーカー、チャイルドシート等の貸出事業を開始しました。

貸出物品を購入するとともに、家庭で使用しなくなった育児用品のリユース受付も行い、継続可能な仕組みづくりに取り組みました。

育児用品貸出実績

(単位：台)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
丸亀本所	70	19	16	6	7	10	13	11	10	14	27	41	244
綾歌分室	17	7	11	2	2	1			1			11	52
飯山分室	18	7	7	5	2	1		8	4	11	2	3	68
合 計	105	33	34	13	11	12	13	19	15	25	29	55	364

育児用品整備状況

(単位：台)

用品名	台数			
	今年度 購入品	前年度 購入品	リユース (寄付)	合計
ベビーカー		50	42	92
チャイルドシート	50	75	53	178
ジュニアシート		90	11	101
ベビーベッド		30	22	52
ゲートサークル			29	29
ベビーバス			7	7
ベビーチェア			21	21
合 計	50	245	185	480



ベビーベッド、チャイルドシート、ベビーカー



ベビーバス（リユース品）

4. 生活困窮者自立支援事業（丸亀市自立相談支援センターあすたねっと）

重点項目 (1) 自立相談支援事業

生活困窮者自立支援法の本格施行から2年目となり、丸亀市では、平成25年11月からのモデル事業での実践を活かし、自立相談支援事業・家計相談支援事業を継続して受託しました。

丸亀市保健福祉センター1階に開設した「自立相談支援センター（愛称：あすたねっと）」も民生委員児童委員や家族の方からの相談が増加し、徐々に住民や関係機関にも浸透してきたと感じられるようになりました。相談者が生活保護に至る前の困窮状態から早期に脱却することを支援するため、センター長を含む5名体制で、関係機関の連携のもと、包括的・継続的な寄り添い型の支援を行い、課題の解決に努めました。

①視察受け入れ及び研修報告会の実施

生活困窮者支援事業に取り組む様々な自治体等からの視察研修会を積極的に受け入れ、生活困窮者支援における具体的な取り組み状況の報告や、今後の支援体制づくりについての意見交換を行いました。

視察受け入れ状況

年月日	市町名	訪問者
28.10.26	埼玉県新座市市議会議議員	議員7名、執行部職員2名 議会事務局職員1名
29.2.9	千葉県八千代市議員	議員4名

研修報告会

年月日	内 容	場 所
28.5.24	NPO法人K H J 香川県オリーブの会定例会	香川県社会福祉総合センター

②研修会の参加

本事業の理念や実践方法、他機関との連携体制づくりについての研修会に参加しました。相談業務にあたる職員のスキルアップのため、主任相談支援員・就労支援員等の養成研修やディクション関連研修会、多重債務・精神保健福祉関係の研修会に参加しました。

年月日	内 容	場 所
28.9.9 ～11	第49回公的扶助研究全国セミナー	ロームシアター京都 花園大学
11.12 ～13	第3回生活困窮者自立支援全国研究交流大会	川崎市教育文化会館キャンパス 慶應義塾大学日吉キャンパス
29.2.22	生活困窮者自立相談支援事業に係る伝達研修	香川県庁北館

③自立相談支援事業相談状況（平成28年度における新規件数）

相談件数

(単位：件)

月	前年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談登録者	90	11	3	8	13	4	8	14	7	9	8	9	11	105

性別・年齢

(単位：名)

年 齢	前年度	28 年度		
		男	女	合計
10 歳代		2		2
20 歳代	11	4	4	8
30 歳代	16	8	8	16
40 歳代	18	8	10	18
50 歳代	18	14	7	21
60～64 歳	5	2	3	5
65～69 歳	12	8	6	14
70～74 歳	3	3	7	10
75～79 歳	5	1	5	6
80 歳代	2	3		3
不 明			2	2
合 計	90	53	52	105

外国籍・刑余者数

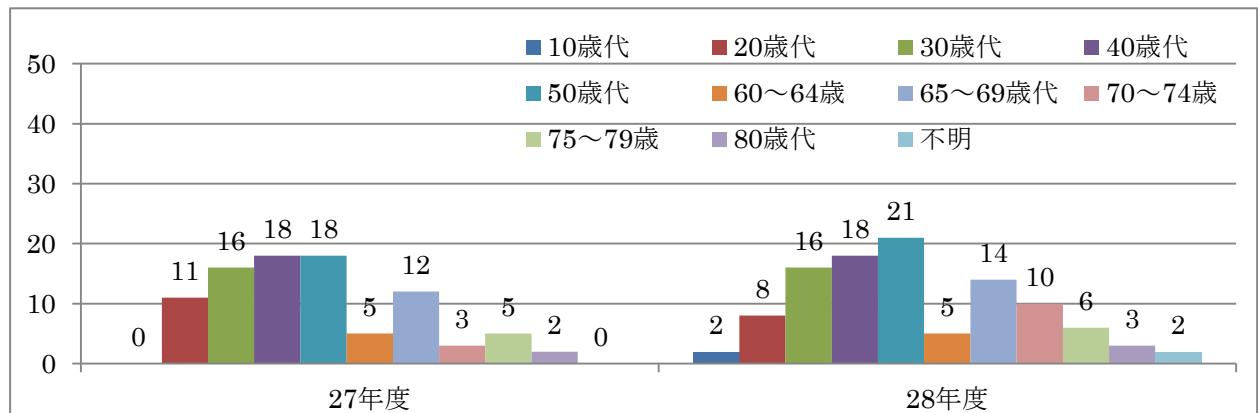
(単位：名)

区 分	前年度	28 年度
外 国 籍	2	1
刑 余 者	1	
合 計	3	1

世帯構成

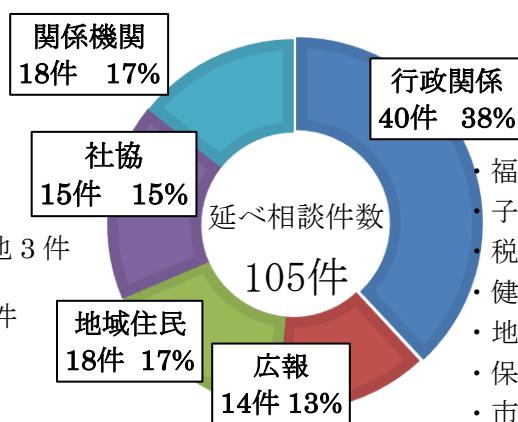
(単位：世帯)

区 分	前年度	28 年度
单 身 世 带	30	45
複 数 世 带	32	60
合 計	62	105



相談経路

- ・ハローワーク 6 件
- ・香川県社協 1 件
- ・病院（MSW）3 件
- ・中讃保健所 2 件
- ・司法書士・弁護士 3 件
- ・消費生活支援センター他 3 件
- ・民生委員児童委員 4 件
- ・知人・家族 8 件
- ・市議会議員 2 件
- ・その他 4 件



- ・福祉課（ケースワーカー）27 件
- ・子育て支援課 6 件
- ・税務課 2 件
- ・健康課（保健師）1 件
- ・地域包括支援センター1 件
- ・保険課 1 件
- ・市民相談 2 件

《概説》

年齢層は、前年度と同様で30歳～60歳の稼働年齢層からの相談が多く、相談経路は、前年度に比べて、民生委員児童委員や知人・家族といった地域住民からの紹介が増加しました。福祉課（ケースワーカー）や子育て支援課の相談窓口からのつなぎもみられました。

相談対応（年度累計） (単位：件)

内 容	27 年度	28 年度
来所相談	1,310	1,423
電話相談	3,464	3,024
訪問相談	282	269
同行相談	166	166
合 計	5,222	4,882

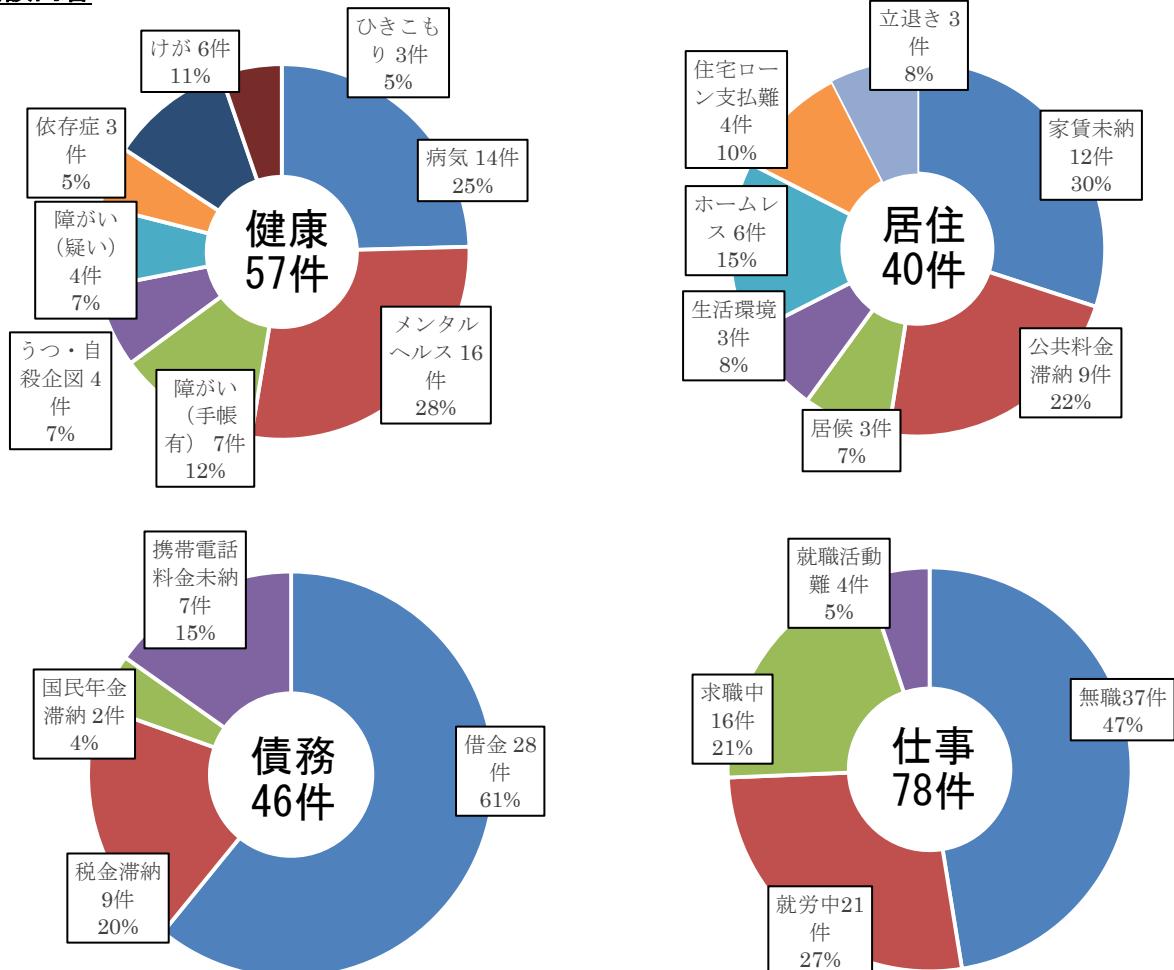
緊急性 (単位：件)

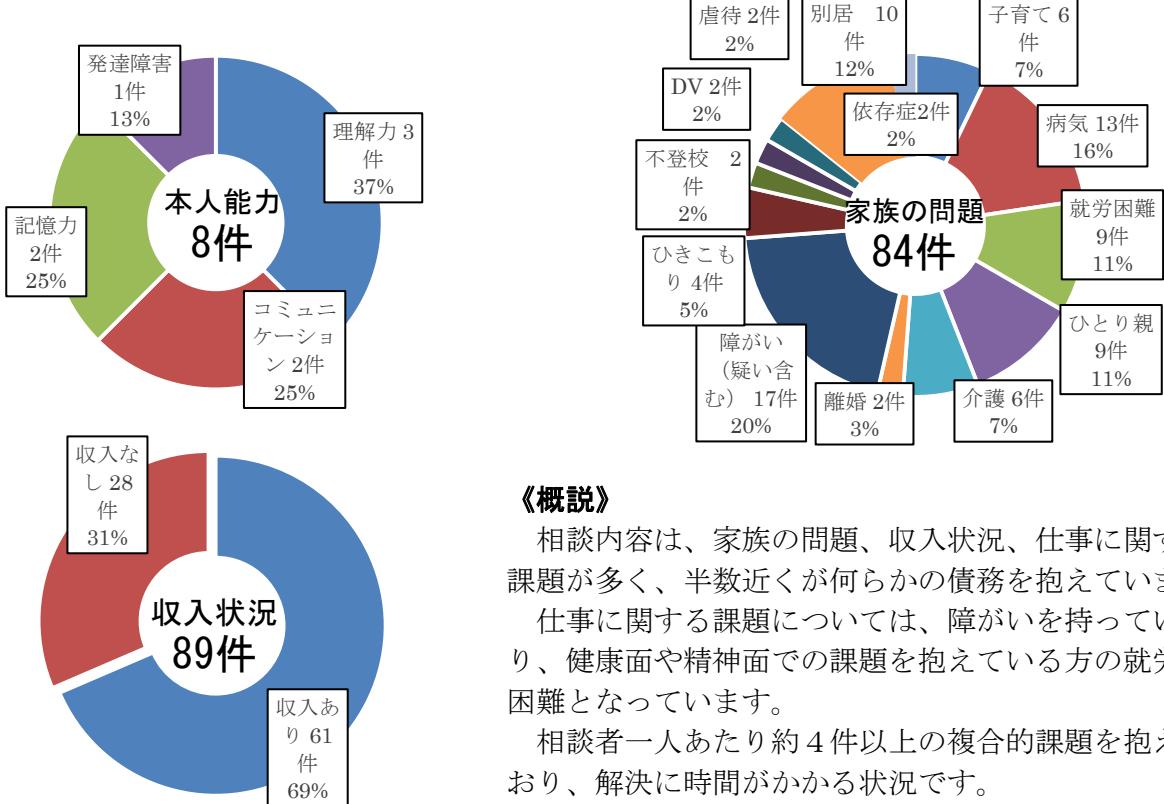
内 容	27 年度	28 年度
食 糧	13	11
住 ま い	20	14
合 計	33	25

《概説》

相談窓口として浸透してきたことにより、相談対応合計は、昨年度に比べ8割ぐらいになっています。限られた相談員数のため訪問相談には限界がありますが、相談者は精神に障がいを持つ方や一人で不安を抱えている方が多く、来所相談・同行相談ともに昨年同様となりました。

相談内容





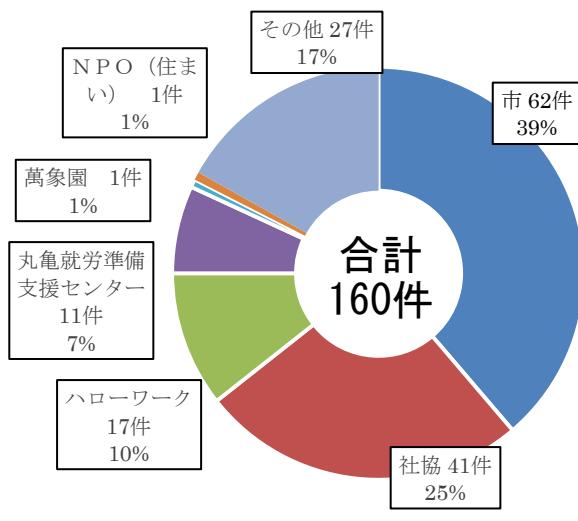
《概説》

相談内容は、家族の問題、収入状況、仕事に関する課題が多く、半数近くが何らかの債務を抱えています。

仕事に関する課題については、障がいを持っていたり、健康面や精神面での課題を抱えている方の就労が困難となっています。

相談者一人あたり約4件以上の複合的課題を抱えており、解決に時間がかかる状況です。

連携機関（つなぎ先）



- ・福祉課（生活保護・障がい）33件
- ・子育て支援課 8件
- ・高齢者支援課 4件
- ・包括支援センター9件
- ・健康課 1件
- ・保険課 1件
- ・学校（教育委員会含む） 6件
- ・貸付 25件
- ・食料、衣服、日用品支援 10件
- ・歳末たすけあい見舞金 1件
- ・日常生活自立支援 1件
- ・後見センター 1件
- ・家計相談支援 2件
- ・学習支援 1件

《概説》

連携機関は丸亀市が最も多く、福祉課、子育て支援課、包括支援センターの順となりました。

就労支援は、ハローワークや就労準備支援事業実施機関と密にケース会議を行い、その状況に合わせた支援を実施しました。また、社協内事業との連携では、緊急支援が多く、資金貸付・食料支援等が上位となりました。

平成28年4月よりスタートした「かがわ思いやりネットワーク事業」では、「おもいやりネットまるがめ」を立ち上げ、支援協力体制の構築に取り組んでいます。現在の加入状況は、8法人11施設ですが、今後、事業連携先としての加入法人の拡大が期待されます。

プラン経過及び相談状況

(単位：件)

月 内 容	前年度 合計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1. プラン作成 支援決定・確認件数	41	8	4	3	1	6	2	4	3	7	2	2	7	49
プラン 内 容	住宅確保 給付金	4						1						1
	就労準備 (萬象園)	8	2				1		2			1	1	7
	就労準備 (さぬきサ ポートセン ター)	20	1	4	2	1	3	1	2	3	4	2	3	26
	就労訓練 (萬象園)						1				1		1	3
	家計支援	11	1	1	2		1	1		1	6	2	1	17
	学習支援	2	3				1	1			1		1	8
	ハローワークセンター	21	2	4	2	1	3	1	1	2	3		2	21
	その他	4	1						1		1		1	4
2. プラン継続中	17	19	18	18	17	14	18	19	20	19	22	22	17	
継 続 内 容	住宅確保 給付金		1	1						1	1			
	就労準備 (萬象園)	3	3	3	3	3	1	2	1	3	4	3	3	2
	就労準備 支援センター	9	10	10	10	8	8	1	10	10	10	11	10	8
	就労訓練 (萬象園)							1	1	1	2	1	1	
	家計支援	3	5	3	3	5	5	4	5	4	4	8	9	8
	学習支援	2	3	3	3	3	3	3	4	4	5	4	4	4
	ハローワークセンター	9	10	7	9	8	8	12	9	9	8	7	6	3
	その他	1	3	1	1	1	1	1		1	2	1	1	

※プラン作成件数及びプラン継続中、件数と内容の件数が一致しないのは、一つのプランに複数のプラン内容が重なっているからである。

内容	月	前年度 合計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
3. プラン終結		34				1	1	1				1	4	1	2	14
終 結 内 容	就労	17				1	1	1					2			5
	他サービスつなぎ	4											2			2
	本人希望による 支援辞退	7						1						1	2	
	市外転出	1			1			1			1				3	
	生活保護	4														
	行方不明												1		1	
	死亡	1												1	1	

相談状況

(単位 : 件)

内容	月	前年度末	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
終 結 内 容	関係機関つなぎ	43	47	44	50	52	50	48	49	48	47	48	48	45	
	相談・情報 提供のみ	30	32	32	33	36	38	42	48	50	59	63	67	71	
	生活保護	44	48	47	24	51	51	51	50	52	54	55	55	55	
	就労(自力)		38	39	38	24	43	42	43	41	42	45	46	46	
	本人希望による 支援辞退	22	23	24	24	24	24	25	26	27	28	26	26	27	
	市外転出	23	22	23	23	24	25	24	27	26	26	26	30	26	
	行方不明	2	3	3	3	3	3	3	4	5	5	6	6	6	
	死亡	7	7	6	7	8	8	8	8	8	9	9	9	10	
4. 経過観察		60	61	61	65	74	70	70	77	72	69	66	75	60	

④支援調整会議の実施

丸亀市福祉課が主催する会議において、相談者の自立を促進するための支援方針・支援内容・本人の達成目標等を盛り込んだ支援プランを関係機関と協議しました。本人の同意と行政の支援決定がなされた支援プランに基づき、様々な機関が連携しながら自立に向けた支援を行いました。本年度も月2回の定期開催とし、年間24回の開催となりました。

⑤生活困窮者自立促進支援事業運営協議会への参加

丸亀市福祉課が行う運営協議会へ参加し、行政機関を中心とした関係機関との情報交換や意見交換を行い、生活困窮者自立支援法の理念や内容の共有を図るとともに、関係機関による生活困窮者支援体制の確立に努めました。

⑥関係機関とのネットワーク強化

(単位:名)

年月日	内容	参加人数	場所
28. 6. 3	第1回中讃圏域精神保健福祉関係ネットワーク会議	37	中讃保健福祉事務所
6. 17	生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	18	坂出公共職業安定所
6. 22	丸亀地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	18	丸亀公共職業安定所
9. 23	第2回中讃圏域精神保健福祉関係ネットワーク会議	36	中讃保健福祉事務所
9. 28	生活困窮者自立支援制度担当者連絡会	39	香川県庁北館
11. 25	第3回中讃圏域精神保健福祉関係ネットワーク会議	35	中讃保健福祉事務所
29. 3. 3	第4回中讃圏域精神保健福祉関係ネットワーク会議	56	中讃保健福祉事務所
3. 6	障害者雇用連絡会議	17	丸亀公共職業安定所

⑦サロンの開催

相談者の中には、日頃あまり人と接することが少なく、「話を聞いてほしい」という相談も多くみられます。また、食事の作り方や片づけの仕方などに不安を感じている方もいることから、生活で重要な「食」をテーマとしたサロンを開催しました。

食事を作ることで生活の自立を促し、会話することでサロンが居場所となり、効果的な支援につなげることができました。運営のための支援者として、丸亀市食生活改善推進協議会の男性ボランティアの方々にご協力いただいたことで、男性が参加しやすいサロン運営に努めました。

(単位:名)

年月日	内容	参加人数	場所
28. 5. 19	ごはんを一緒に作りませんか 食べませんか	10	ひまわりセンター
7. 26	あすたねっと料理教室	11	ひまわりセンター
9. 27	あすたねっと料理教室	13	ひまわりセンター
11. 22	あすたねっと料理教室	10	ひまわりセンター
29. 1. 24	あすたねっと料理教室	10	ひまわりセンター
3. 21	あすたねっと料理教室	12	ひまわりセンター

⑧生活困窮世帯への緊急時支援物資の支給

制度の狭間にある生活困窮者世帯が抱える生活課題に対して、丸亀市自立相談支援センター「あすたねっと」で相談を受け、ケースに応じて給料・年金・資金の貸付等を受けるまでの一時的な食料を支給しました。

(単位:件)

区分	27年度	28年度
支援物資支給延べ件数	336	362

(2) 家計相談支援事業

丸亀市より受託し、生活困窮者の家計の再生を図るため、家計等に関するきめ細やかな相談支援事業を実施しました。相談員が、相談者の抱えている生活課題や希望を丁寧に聞きとりながら一ヶ月の家計収支の見直しを行うことで、暮らしの改善につながるように支援しました。

また、専門的な知識を要する支援については弁護士と連携し、債務整理などの支援につなげました。

(単位：人／回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	累計
利用人数	5	5	6	6	7	6	6	7	10	9	9	9	85
実施回数	13	14	14	13	17	10	8	18	34	25	27	22	215

(単位：件)

相談内容	件数	相談対応
多重債務整理	5	法テラスに相談
家計収支確認	11	月1回程度の相談確認

【現状と今後の課題】

- ・家族全体の課題では、8050問題（80代の親と50代の障がいをもつ子どもの二人暮らし）の家庭も多くみられ、家族全体を支援するためには、それぞれの支援機関が密に連携して支援する必要があります。
- ・健康の課題では、精神面での支援が必要な方が増加しており、支援が長期化するケースが多くなっています。
- ・就労の課題では、就労定着の見極めが難しく、継続的なフォローアップも必要です。
- ・居場所の課題では、相談者の身近な地域において不安を抱えている方が気軽に集まり、話ができる場が必要です。
- ・住まいの課題では、一時的な住居確保が必要ですが、相談者の身近な生活圏域ごとに整備を検討する必要があります。
- ・相談支援を実施する上での全体的な問題では、支援員が必要と感じる支援がなかなか本人に受け入れられず、支援につながらないことがあります。相談者との信頼関係の構築や具体的な目標を相談者が納得した上で一緒につくりあげていくためには、長い時間をかける必要があります。

重点項目 (3) 香川おもいやりネットワーク事業（おもいやりネットまるがめ）

平成27年4月より、香川県内の社会福祉法人施設や社会福祉協議会、民生委員児童委員がつながり、「生活のしづらさ」を抱えた方をトータルで支援する仕組みとして、香川おもいやりネットワーク事業が開始されました。

それぞれの市町社会福祉協議会がコーディネーターとなり、社会福祉法人施設に参加を呼びかけ協議体づくりに取り組み、丸亀市では8法人11施設の参加により、「おもいやりネットまるがめ」を立ち上げ、関係機関・団体のネットワークを活かした支援を行っています。

本年度は、5件442,749円の家賃・電気料金・葬祭費・教育費等の支援を行いました。

【参加法人・施設名】 ※社会福祉協議会は除く

社会福祉法人名	施設名
鵜足津福祉会	土器川荘
	今津荘
	マイルドハート丸亀
	土器川タウン
宝樹園	青の山荘
祷友会	紅山荘
香川県社会福祉事業団	香川県ふじみ園
萬象園	萬象園
博安会	たるみ荘
うぶすな会	丸亀さんさん荘
厚仁会	珠光園

【地域ネットワーク会議（おもいやりネットまるがめ）】

年月日	内 容	場 所
28. 4. 25		ひまわりセンター
7. 25	・参加施設紹介 ・事例紹介 ・事例検討 等	特別養護老人ホーム今津荘 軽費老人ホームマイルドハート丸亀
10. 24		特別養護老人ホームたるみ荘 ショートステイたるみの杜
29. 1. 23		救護施設 萬象園

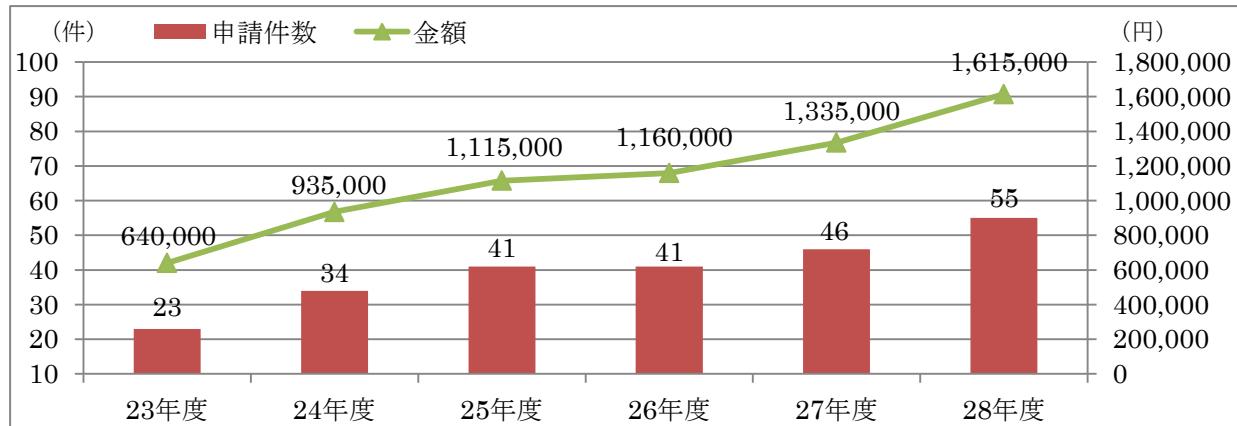
（4）助け合い金庫貸付事業

公的資金援助制度等の利用対象とならない市内在住の低所得世帯等に対し、民生委員児童委員の協力のもと、本会が独自に生活資金の貸付（上限30,000円）を行い、自立更生に向けて安定した生活が営めるよう指導・援助を実施しました。

【延べ相談件数86件】

(単位：件／円)

区 分	27年度		28年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額
助 け 合 い 金 庫	46	1,335,000	55	1,615,000



(5) 生活福祉資金貸付事業

香川県社会福祉協議会より委託を受け、市内在住の低所得者・高齢者・障がい者世帯及び求職・離職者世帯を対象に資金の貸付を行い、世帯が抱える複合的な課題に対し、必要な相談支援と資金の貸付により、世帯の経済的自立と生活意欲の高揚に努めました。

【延べ相談件数 156 件】

(単位：件／円)

区分	27年度		28年度	
	件数	金額	件数	金額
総合支援資金				
教育支援資金	3	2,614,400	1	127,200
福祉資金	1	78,000	3	458,960
緊急小口資金	47	3,309,000	42	2,895,000
不動産担保型生活資金				
臨時特例つなぎ資金	1	66,000	2	167,000
合計	52	6,067,400	48	3,648,160

5. 成年後見推進事業（後見センターまるがめ）

（1）法人後見推進事業

精神上の障がい（知的障がい・精神障がい・認知症等）により判断能力が十分でない方の権利擁護のための成年後見制度に法人組織として取り組み、利用者保護に努めました。

また、弁護士・司法書士・社会福祉士・精神保健福祉士等で組織する法人後見運営委員会に、新たに税理士を加え、受任案件の協議や業務上の相談などをご指導いただきながら、確実な事業実施に努めました。

①法人後見運営委員会

（単位：名）

年月日	内 容	委員	場 所
28. 4. 26	<ul style="list-style-type: none">新規受任について市民後見人候補者について法人後見事業の相談について受任ケースの状況報告について	7	ひまわりセンター
5. 25	<ul style="list-style-type: none">成年後見関係事件の概況説明について市民後見人候補者について後見センターまるがめ運営委員について法人後見事業の相談について受任ケースの状況報告について	7	ひまわりセンター
7. 27	<ul style="list-style-type: none">成年後見制度講演会について市民後見人募集内容について成年被後見人の報告と相談について後見センターまるがめ新規運営委員について受任ケースの状況報告について	7	ひまわりセンター
8. 24	<ul style="list-style-type: none">新規運営委員について市民後見人の募集内容について成年後見制度講演会について法人後見業務の相談について受任ケースの状況報告について	8	ひまわりセンター
9. 27	<ul style="list-style-type: none">新規受任について市民後見人候補者について法人後見業務の相談について受任ケースの状況報告について	7	ひまわりセンター
10. 26	<ul style="list-style-type: none">後見センターまるがめ運営委員について後見センターまるがめ運営要綱の一部改正について新規受任について法人後見業務の相談について受任ケースの状況報告について	7	ひまわりセンター

年月日	内 容	委員	場 所
11. 28	<ul style="list-style-type: none"> ・後見センターまるがめ運営委員について ・新規受任について ・市民後見人養成研修受講申込状況について ・受任ケースの状況報告について 	8	ひまわりセンター
29. 1. 11	<ul style="list-style-type: none"> ・市民後見人養成研修について ・新規ケースの検討について ・受任ケースの状況報告について 	7	ひまわりセンター
3. 29	<ul style="list-style-type: none"> ・丸亀市市民後見人養成修了者の面接結果報告とフォローアップ研修（案）について ・新規ケースの検討について ・被後見人の遺産相続に関する相談について ・保佐人の引継ぎについて ・受任ケースの状況報告について ・運営委員の委嘱状と就任承諾書について 	7	ひまわりセンター

②新規受任内容

No.	受任開始年月日	類型	性別	年齢	支援内容等
1	28. 4. 14	後 見	女	95歳	身上監護・財産管理
2	5. 6	後 見	男	85歳	H28. 12市民後見人に移行 社協が監督人となる。
3	8. 7	保 佐	男	79歳	身上監護・財産管理
4	9. 30	後 見	女	68歳	身上監護・財産管理
5	10. 21	後 見	女	87歳	身上監護・財産管理
6	11. 10	後 見	男	73歳	H29. 1. 15死亡
7	12. 2	後 見	女	94歳	身上監護・財産管理
8	12. 2	後 見	女	96歳	身上監護・財産管理

（2）市民後見推進事業

市民後見人候補者として法人後見支援員活動をされている方の中から、12月に新たに2名が「市民後見人」として家庭裁判所から選任され活動を開始し、丸亀市の市民後見人は4名となりました。

また、法人後見支援員として被後見人等の居所を訪問する現場実習を継続的に行い、フォローアップ研修では、専門職講師による後見活動を行う上での心構えや留意点などについて助言・指導を受けスキルアップにつなげました。



市民後見人フォローアップ研修会

(単位：名)

年月日	内 容	参加人数	場 所
毎月1回	・法人後見支援員活動・訪問での現場実習	随時	ひまわりセンター
28. 4. 20	・生活困窮者自立支援事業支援活動について ・後見活動（事例検討）	13	ひまわりセンター
6. 14	「精神障害者と市民後見人の関わりについて」 【講師】医療法人社団中和会 西紋病院 社会復帰事業部係長 大西 知子 氏	13	ひまわりセンター
9. 14	「市民後見人、市民後見人候補者による活動報告と助言指導」 【講師】リーガルサポートかがわ 司法書士 大塚 昭男 氏	11	ひまわりセンター
12. 22	平成28年度成年後見制度人材養成研修会	11	ひまわりセンター
29. 2. 28	「課題演習 成年後見の実務」 【講師】香川県社会福祉士会 ぱあとなあ香川 社会福祉士 時岡 信一 氏	10	ひまわりセンター

①研修会の参加

市民後見人へのサポート・相談対応のための情報収集を行いました。

年月日	内 容	場 所
28. 12. 9	平成28年度成年後見制度人材養成研修会 (12/9、12/16、12/22)	ひまわりセンター

②市民福祉講座の開催

成年後見センター「リーガルサポートかがわ」より、大塚昭男司法書士をお招きし、成年後見制度についての講座を開催しました。制度における支援内容や相続・遺言についてなど、具体的な事例をお話しいただき、制度の周知啓発に努めました。

(単位：名)

年月日	内 容	参加人数	場 所
28. 7. 12	住みなれた地域で暮らすための成年後見制度	89	ひまわりセンター



市民福祉講座

③丸亀市市民後見推進事業（成年後見制度講演会の開催）

成年後見制度の広報・啓発として、リーガルサポート前理事長の松井秀樹氏をお招きし、市民を対象とした講演会・パネルディスカッションを開催しました。

第1部では、松井先生が地域の担い手としての人材育成を行い、身近に暮らす市民が後見人となって支援することの必要性について熱く語られ、第2部では、地域包括支援センターや後見センターまるがめ、坂出市成年後見センターから各機関の役割説明がありました。市民後見人からは具体的な活動報告があり、聴講者は熱心にメモをとっていました。

(単位：名)

年月日	内 容	参加人数	場 所
28. 10. 15	<p><u>第1部 講演</u> 「市民後見人の活動」～地域のために未来のために～ 【講師】公益社団法人成年後見センター「リーガルサポート」 前理事長 松井 秀樹 氏</p> <p><u>第2部 パネルディスカッション</u></p> <p>コーディネーター リーガルサポートかがわ司法書士 大塚 昭男 氏</p> <p>パネリスト 公益社団法人成年後見センター「リーガルサポート」 前理事長 松井 秀樹 氏 地域包括支援センター社会福祉士 重成 宏美 氏 後見センターまるがめセンター長 南 俊平 氏 市民後見人 亀野 忠郎 氏 市民後見人 宇野ひろみ 氏 坂出市成年後見センター専門員 松原 秀和 氏</p>	68	ひまわりセンター



第1部 松井 秀樹 氏による講演



第2部 パネルディスカッション 大塚 昭男 氏



パネリスト
左から、松井氏・重成氏
南氏・松原氏
亀野氏・宇野氏

(3) 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

判断能力に不安があるため適切な福祉サービスを受けることができない方を対象に、地域で自立した生活が送れるよう、2名の専門員と20名の生活支援員で、福祉サービスの利用手続きの援助や利用料の支払代行などを行いました。

丸亀市福祉課、高齢者支援課、包括支援センターなどの関係機関と連携し、状況把握とともに、生活困窮者自立支援事業や法人後見事業とあわせた切れ目のない支援に努めました。

①専門員研修会

利用者の生活状況やニーズを的確に把握し、本人の自己決定の尊重・自立支援の観点から社会資源を活用した適切な支援ができるよう、香川県社会福祉協議会が開催する研修会（専門員研修会・あんしんネット勉強会）や、かがわ総合リハビリテーションセンターが開催する高次脳機能障害支援関係職員研修会などに参加しました。

②生活支援員研修会

香川県社会福祉協議会が開催する生活支援員新規登録研修会・集合研修会・ブロック別研修会に参加し、対人援助の基本的な視点や知識・技術、態度の習得に努めました。また、関連する成年後見制度基礎講座や高齢者虐待防止等実務者会議にも参加し、知識の向上に努めました。

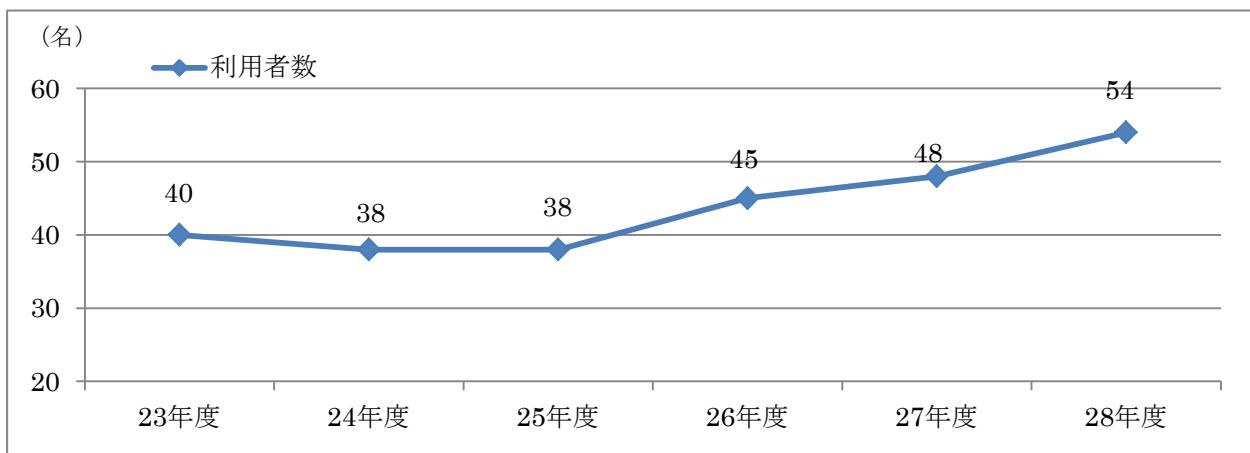
③精神保健福祉連絡会（かめたの会）

当事者や近隣の精神保健福祉に関わる機関（行政・病院・施設及び団体等）が一同に会し、精神保健福祉向上のための情報収集・意見交換を行いました。また、研修会等に参加し、関係機関との連携強化に努めました。

④福祉サービス利用援助事業利用状況（各月末時利用者数）

（単位：名）

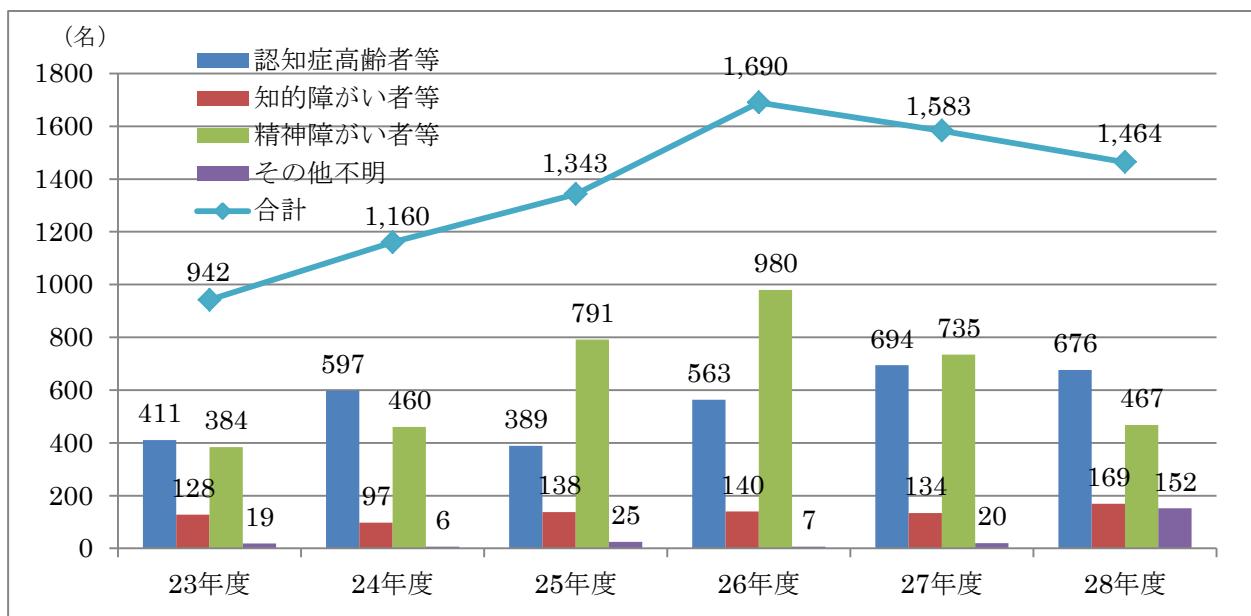
月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	27年度末
人数	48	50	53	54	54	53	54	52	51	52	51	54	48



⑤相談・問い合わせ件数

(単位：件)

件数	対象者	相談経路	主な相談内容
1,464	認知症高齢者等 676 知的障がい者等 169 精神障がい者等 467 その他、不明 152	本人 824 保健、医療、福祉機関 343 行政（包括、生保等） 143 家族、親類 91 その他 44 知人 13 民生委員児童委員 6	福祉・保健サービスの手続き等 日常的金銭管理等 書類等の預かり 医療に関する事項 福祉サービスに関する苦情 今後の生活設計等 本事業に関する問合せ 成年後見制度に関する問合せ



6. ファミリー・サポート・センター事業

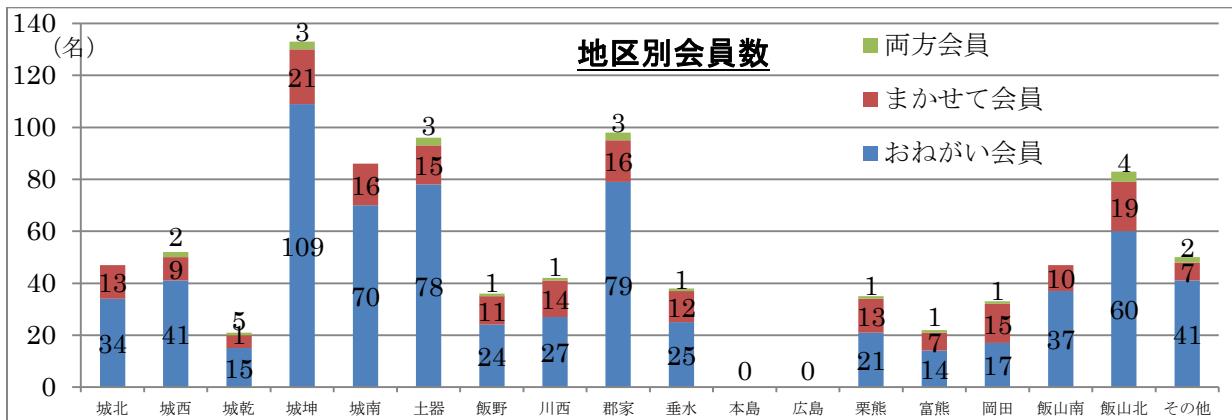
子育て中の保護者が地域で孤立することなく、安心して子育てができる地域づくりを目指して会員同士の相互援助活動の支援を行いました。

利用しやすい環境づくりとしての保護者の都合に配慮した事前打ち合わせ(マッチング)や、まかせて会員の活動に対する意識向上のための「まかせて会員スキルアップ研修会」、「サポートミーティング」を行い、会員の拡大や安心して利用できる環境づくりに取り組みました。

(1) 年度別会員登録者数

(単位:名)

項目	26年度	27年度	28年度
まかせて会員	167	188	203
おねがい会員	536	605	692
両方会員	19	23	24
合計	722	816	919



(2) 活動実績

(単位:件)

項目	26年度	27年度	28年度
保育所・幼稚園前後の預かり	215	377	184
保育所・幼稚園への送迎	301	357	249
小学校・青い鳥教室前後の預かり	8	2	
小学校・青い鳥教室前後の送迎	118	31	16
デイサービスの送迎	59	43	
子どもの習い事等の援助	97	148	101
保育所・小学校等休み時等の援助		31	
保護者等が就労時の援助	3	44	32
保護者等が外出時の援助	25	62	166
合計	826	1,095	748



まかせて会員の支援活動

(3) 講習会の開催

(単位:名)

年月日	内 容	参加人数	場 所
28. 6. 14、6. 15 6. 16、6. 21	まかせて会員養成講座	各14	ひまわりセンター
8. 9	スキルアップ研修会 「即効会話テクニック～コミュニケーションに役立つピア・サポートを体験しよう～」 講師 香川県立観音寺第一高等学校 教諭 岡田 優代 氏	41	ひまわりセンター
10. 28、11. 1 11. 2、11. 4	まかせて会員養成講座	各 6	ひまわりセンター
29. 2. 10	スキルアップ研修会 「子どもの安全を守る」 講師 日本赤十字社 香川県支部 事業推進課長 藤原 淳子 氏	34	ひまわりセンター
2. 17、2. 20 2. 21、2. 28	まかせて会員養成講座	各11	ひまわりセンター



チャイルドマウス



チャイルドビジョン

スキルアップ研修会

まかせて会員養成講座 内容

内 容	講 師
子育てをめぐる状況とファミサポ事業について	N P O 法人わははネット 理事長 中橋恵美子 氏
発達障害のある子をサポートする ～家族の気持ちに寄り添って～	ひもりの里診療所 事務局長 社会福祉士 大山 茂之 氏
子どもの栄養	丸亀市子ども未来部幼保運営課 主査 栄養士 矢野 陽子 氏
子ども虐待防止	西部子ども相談センター 所長 久利 文代 氏
心肺蘇生方法とA E Dの使い方	日本赤十字社 香川県支部 事業推進課長 藤原 淳子 氏
手引きの説明	丸亀市ファミリー・サポート・センター アドバイザー
心の発達とその問題	丸亀市子ども未来部幼保運営課 指導主事 保育士 常包 雅子 氏
子どもとのコミュニケーション ～乳幼児との遊び方～	丸亀市子ども未来部幼保運営課 主査 保育士 小川 幸子 氏
子どもの世話	丸亀市子ども未来部子育て支援課 家庭児童相談員 保育士 宮川美代子 氏
子どもの安全 ～家庭内事故・対応処置～	丸亀市子ども未来部幼保運営課 主査 保健師 香川美日子 氏
子どもの病気とアレルギー	奎保小児科医院 院長 平場 一美 氏

(4) 会員交流会の開催

(単位:名)

年 月 日	内 容	参 加 人 数	場 所
28. 7. 24	交流会「おやこで美術館へいこう！」	33	ひまわりセンター 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
9. 7	まかせて会員サポートミーティング	11	ひまわりセンター
12. 19	クリスマス交流会	80	飯山総合保健福祉センター



交流会「おやこで美術館へいこう！」



サポートミーティング

(5) イベント等への参加

年月日	内 容	場 所
28. 12. 11	まるがめ子育てフェスタ&にこにこひろば	飯山総合保健福祉センター

II. 共同募金助成事業

1. 広報・啓発活動事業

(1) 社協だより「かけはし」の発行

年4回発行の本会広報誌を市内全世帯に配布し、本会の役割・活動内容や福祉情報の広報周知に努めました。地域貢献企業の紹介や福祉施設、ふれあい・いきいきサロンの取り組み紹介とともに、毎号特集記事を企画し、市民の関心にあわせた紙面づくりに取り組みました。

号数	発行年月日	発行部数	主 な 内 容
39	28. 5. 1 	47,300 部	<p>特集 みんなで地域福祉を実践してみよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度の主な事業の取り組み重点事業をご紹介します ・地域貢献企業 企業パートナー紹介 (㈱丸亀給食センター) ・こんにちは ふれあい・いきいきサロン ・福祉施設紹介 (社会福祉法人鶴足津福祉会 マイルドハート丸亀) ・オルデの部屋 ・平成28年度赤い羽根共同募金助成 集める、活かす、地域が良くなる ・ファミリー・サポート・センター ・みんな集まれー！おやこカフェ・おやつ日和 ・オルデからのお知らせ ・善意の窓・ありがとうございます 団体会員 ・平成28年度 会費のお願い ・障害者差別解消法がスタートしました
40	28. 7. 1 	47,300 部	<p>特集 社協ってなに？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度の事業報告をご紹介します ・地域貢献企業 企業パートナー紹介 (読売新聞香川販売㈱読売センター飯山) ・こんにちは ふれあい・いきいきサロン ・まちのボランティアグループ紹介 (在宅給食ボランティア) ・福祉施設紹介 (社会福祉法人 光志福祉会) ・くらしのお役立ち情報・オルデの部屋 ・ファミリー・サポート・センター ・みんな集まれー！おやこカフェ・おやつ日和 ・オルデからのお知らせ ・善意の窓・ありがとうございます 団体会員 ・ふくしほスティバルまるがめ

号数	発行年月日	発行部数	主な内容
41	28.10.1 	47,080 部	<p>特集 地域を元氣にするホットなあかいはね女子！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根共同募金運動が始まります ・地域貢献企業 企業パートナー紹介（四国電力(株)丸亀営業所） ・こんにちは ふれあい・いきいきサロン ・まちのボランティアグループ紹介 (子育てボランティアももちろんくらぶ) ・福祉施設紹介（社会福祉法人 虎岳会 虎岳保育園） ・くらしのお役立ち情報 ・ファミリー・サポート・センター ・みんな集まれー！おやこカフェ・おやつ日和 ・オルデからのお知らせ ・善意の窓・ありがとうございます 団体会員 ・第12回丸亀市社会福祉大会
42	29.2.1 	47,430 部	<p>特集 終活準備、始めていますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献企業 企業パートナー紹介 (株)グローリングカンパニー 朝日新聞サービスアンカーASA丸亀クリクラ中讃) ・こんにちは ふれあい・いきいきサロン ・まちのボランティアグループ紹介（丸亀ひまわり文庫） ・福祉施設紹介（社会福祉法人 あやうた福祉会） ・赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 ・オルデからのお知らせ ・第6回「赤い羽根募金箱をつくろう」コンクール受賞者発表！ ・ファミリー・サポート・センター ・育児用品をお譲りください・おやつ日和 ・善意の窓・ありがとうございます 団体会員 ・くらしのお役立ち情報 ・テーマ募金スタート

（2）ホームページ・事務局通信等による情報提供

本会ホームページや事務局通信による情報発信や新聞社、ケーブルテレビなどのマスメディアへの情報発信を行い、本会事業の周知・啓発を行いました。

ホームページアドレス

社協HP

<http://www.marugame-shakyo.or.jp/>

しおや保育所HP

<http://marugame-shioya.com/>

2. 移動販売支援事業（買物支援事業）

香川県の指定を受けた買物支援事業者と契約し、本島・広島地区への移動販売車による食品・日用品等の販売を実施し、高齢者の孤立防止や地域での見守り活動としての事業を進めました。

しかし、委託業者より平成29年2月末を持って契約終了の申出があり、新たな業者との協議を進めるとともに、手島については職員が月2回、住民からの注文商品を届けました。

次年度は新たな事業者と委託契約を行い、事業を継続します。

地 区	開催場所	開催日時
広 島	広島内7自治会指定場所	毎 週 (水) 10:30~
広 島	手島港	第1・3 (木) 11:00~
本 島	本島内11自治会指定場所	毎 週 (月) 11:20~



本島内11自治会指定場所（本島）



広島内7自治会指定場所（広島）

3. 子ども防災体験プログラム事業

災害時に役立つ知識を楽しみながら身につけられるよう、子ども防災体験プログラム「イザ！カエルキャラバン！」を開催しました。もしもの時、自分に何ができるかを知ることで、子どもたちの防災意識を高めるとともに、日頃からの助け合いの大切さを学ぶ機会を提供しました。

(単位:名)

年 月 日	内 容	参 加 人 数	場 所
28. 9. 4	【災害体験ボランティア講座】 「イザ！カエルキャラバン！inまるがめ」 事前オリエンテーション	22 (学生スタッフ等)	ひまわりセンター
9.22	【災害体験ボランティア講座】 第7回ふくしふェスティバルまるがめ 「イザ！カエルキャラバン！inまるがめ」 協力 川西地区自主防災会	49 (学生スタッフ等) 700 (当日参加者)	綾歌総合文化会館 アイレックス



事前オリエンテーション



水消火器体験

4. サロン整備事業

ふれあい・いきいきサロン実施団体からDVDやCDの貸し出し備品整備の要望があり、本年度は、CDラジカセ、DVDプレイヤー内蔵ホームシアターセットを購入し、レクリエーション活動に活用しました。

5. 生活困窮者世帯等に対する支援事業

「地域歳末たすけあい運動」では、地域住民や募金ボランティア、民生委員児童委員、福祉施設等の関係機関・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、支援するための募金活動を実施しました。

寄せられた募金は、民生委員児童委員、コミュニティ会長のご協力をいただき、支援が必要な方への見舞金や養護学校等の子どもたちへのお年玉助成など、様々な福祉活動に活用しました。



養護学校等の子どもたちへお年玉助成（亀山学園・おひさま荘）

重点項目 III. 社会福祉関係団体との連携・支援

1. 共同募金・歳末たすけあい運動の実施

(1) 赤い羽根共同募金運動

赤い羽根共同募金並びに歳末たすけあい運動は、丸亀市の地域福祉活動を推進するための民間財源として重要な役割を果たしており、募金委員や募金ボランティアを中心とした関係団体に熱心なご協力をいただき、運動を推進しました。本年度も、10月1日のオープニングセレモニー後に6店舗、10月29日には14店舗で小中学生募金協力隊の協力をいただき街頭募金活動を実施し、募金活動の拡大と運動の啓発に努めました。



市内大型店舗での街頭募金

①会議の開催と参加

連合自治会長、民生委員児童委員地区会長等を中心とした運営委員会を開催し、共同募金の運営についてご意見をいただくとともに、助成にあたっては審査委員会を開催し、透明性のある共同募金運動の実施に努めました。

②募金実績額

(単位:円)

募金種別	27年度			28年度		
	目標額①	実績額②	目標達成率 ②÷①(%)	目標額①	実績額②	目標達成率 ②÷①(%)
一般募金	24,334,000	24,390,815	100.2	24,400,000	24,646,214	101.0
歳末たすけあい募金	6,188,250	5,755,450	93.0	6,123,750	5,667,125	92.5
合計	30,522,250	30,146,265	98.8	30,523,750	30,313,339	99.3

(2) 共同募金運動助成事業並びに地域歳末見舞金給付事業

各団体・施設より申請のあった助成額を審査委員会で厳正に審査し、助成決定された結果を香川県共同募金会へ進達し、助成を行いました。

また、地域歳末たすけあい運動では、助成基準の見直しを行い、民生委員児童委員、コミュニティの協力のもと、支援が必要な世帯へお渡しするとともに、コミュニティ及び市社会福祉協議会の事業へ助成を行いました。

①地域福祉推進事業（社会福祉協議会助成）

(単位：円)

事業名	金額	事業名	金額
広報活動事業	1,982,462	移動販売支援事業	1,338,000
子ども防災体験プログラム事業	234,000	サロン整備事業	62,000
		合計	3,616,462

②小地域福祉活動事業（17地区コミュニティ助成）

(単位：円)

分野	金額
17地区コミュニティ福祉事業	7,073,000

③地域福祉活動支援事業（福祉団体・ボランティア団体等への助成）

(単位：円)

分野	金額	分野	金額
老人福祉団体	468,000	更生保護団体	140,000
障害児(者)福祉団体・施設	2,321,008	ボランティア・NPO活動団体	764,260
児童・青少年福祉団体	1,237,670	その他の	270,000
母子・父子福祉団体	240,784	合計	5,441,722

④広域助成等

(単位：円)

区分	金額
県広域助成	40,237,914
地域助成	152,510,493
県運動経費	41,200,363
合計	233,948,770

⑤地域歳末たすけあい募金

(単位：円)

事業名	対象世帯・人数	金額
1. 歳末たすけあい見舞金助成	120世帯・293人	2,260,000
内訳	①地区民生委員児童委員が必要と認める世帯	102世帯・253人
	②地区コミュニティ会長が必要と認める世帯	14世帯・36人
	③児童養護施設亀山学園を退園し就労した者で、3年以内にある一人暮らし世帯	4世帯・4人
2. 17地区コミュニティ	—	1,360,000
3. 社会福祉協議会	120団体・238人	2,080,125
内訳	①生活困窮者支援事業	—
	②いきいきサロン整備事業	120団体
	③養護学校等の子どもたちへお年玉助成 (香川丸亀養護学校190名、児童養護施設亀山学園42名、若者独立塾 丸亀おひさま荘6名)	238人
合計		5,700,125

(3) テーマ募金活動

テーマ募金は、1月から3月の拡大期間において、様々な地域課題の解決に向けた「テーマ」を設定した募金委員会等が、自らの活動の必要性を訴えながら必要な資金を自ら調達するための募金活動を行うもので、寄せられた募金は全て参加団体の活動資金として助成されます。

今年度は、県内で9団体が参加し、丸亀市では下記の2団体が活動を行いました。

団体名	使途内容
子どもにやさしいまち丸亀 プロジェクト募金委員会	<ul style="list-style-type: none">保育所、幼稚園、小・中学校への福祉図書の整備ひとり親家庭に対する 丸亀市ファミリー・サポート・センター利用料の助成
川西地区地域づくり推進協議会	<ul style="list-style-type: none">地元小学校に災害用トイレの整備

2. 民生委員児童委員活動への協力

丸亀市における地域福祉の第一線で活動する丸亀市民生委員児童委員協議会連合会の事務局として活動の充実に取り組みました。総会・理事会・主任児童委員部会等に参加し、組織体制の強化と会務の充実を図りました。

今年度は、第85回全国民生委員児童委員大会（香川大会）が開催され、本会職員も事務局として参加しました。また、県外研修に同行し、山口県防府市での災害時における民生委員活動や防府市の高齢者見守り活動の取り組みについて学びました。



山口県防府市県外研修



第85回 全国民生委員児童委員大会

3. 福祉ママ会議活動への協力

民生委員児童委員とともに、女性の立場から丸亀市における地域福祉活動を行う丸亀市福祉ママ会議連合会の事務局として、総会・理事会等への参加や、お城まつり愛の広場・ふくしほエスティバル・チャリティバザーへ参加し、活動の充実に取り組みました。



お城まつり愛の広場



チャリティーバザー

4. 身体障がい者活動への協力及び障がい者団体の活動支援

障がいのある人との交流の機会として障がい者スポーツ大会への協力や関係団体との連携強化ができるよう丸亀市身体障害者福祉連合協会の事務局として活動しました。

5. 社会福祉関係団体等との連携強化

(1) 中学生徒弁論大会への協力

丸亀地区保護司会が主催する、「第68回丸亀市中学生徒弁論大会」が6月15日に開催され、本会から事務局長が審査委員として参加し、上位者へ記念品を授与しました。

重点項目IV. しおや保育所の安定経営

1. 通常保育

(1) 在籍児童数の状況

今年度は、年度途中から産休・育休を取得する職員が多く保育士の人手不足の状態が続いたため、新たな入所の受入れが難しく、退所児数が入所児数を大きく上回りました。認可定員は220名ですが、在籍児童数は、毎月185～190名前後で推移しました。

0歳児の年度当初の受入れ児童数は、昨年と変わらず13名の受入れがあり、年度末の児童数は、定員を満たす15名となりました。また、家庭支援担当保育士を1名配置し、外国籍家庭やひとり親家庭など、家庭の特性に応じた支援を実践しています。

(単位：名)

年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	13	13	13	13	13	14	15	15	15	15	15	15
1歳児	27	27	27	27	27	27	26	27	26	26	26	25
2歳児	33	33	33	33	33	32	31	31	31	30	30	30
3歳児	39	39	39	39	39	39	39	39	38	38	37	37
4歳児	38	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
5歳児	40	40	40	40	39	38	38	37	36	35	35	35
合計	190	191	191	191	190	189	188	188	185	183	182	181

4月1日時点での 0歳児受入状況	25年度	26年度	27年度	28年度
	8名	11名	13名	13名

(2) 土曜保育の状況

今年度は、保育士不足により土曜保育勤務のできる職員が減ったことから、土曜保育の受入可能人数が減少しました。そこで、3ヶ月に1回就労証明書を提出していただき、保護者の土曜日の勤務を確認した上で受け入れや、昨年度同様、可能な場合は家庭保育のご協力をお願いしました。

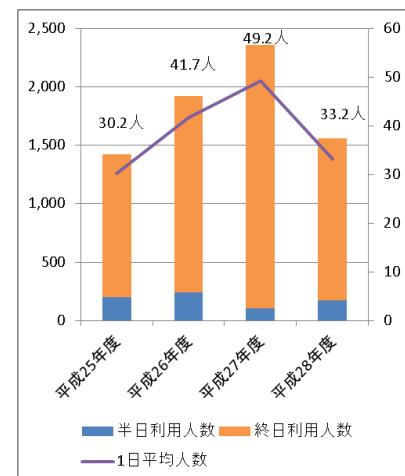
その結果、保護者に出来るだけ家庭で保育していただくようご理解・ご協力をいただくことができ、昨年度に比べて半日のみの利用が増加した一方、終日保育が大幅に減少しました。

なお、今年度以降の入所児童は、毎月第2・第4土曜日と日曜行事の前日の土曜日は、午前のみの半日保育を実施することとしていましたが、保育士不足による受入人数の制限により新たな利用者の受け入れができず、結果的に対象となる利用者はいませんでした。

来年度は、安心・安全な保育を提供しつつ、可能な限り保護者のニーズに応えられるよう、職員の確保に努めます。

(単位：名)

利用人数	25年度	26年度	27年度	28年度
半日	202	244	103	174
終日	1,219	1,674	2,257	1,386
合計	1,421	1,918	2,360	1,560
1日平均	30.2	41.7	49.2	33.2
必要保育士数	5~6	7	9	6



2. 特別保育

(1) 一時預かり事業

今年度は保育士の人手不足により年度途中から一時預かり担当の保育士を配置することができなくなったため、4月から7月までの4ヶ月間の実施となりました。

利用理由では、保護者の出産による緊急利用が最も多く、一時的に保育を必要とする方のニーズに応えることができました。今後も保護者の多様なニーズに応じ気軽に利用できるよう、職員の確保と柔軟な受入体制を継続します。

(単位：名)

利用時間	【非定型】保護者の労働等による断続的な利用	【緊急】保護者の疾病・出産・看護等による一時的な利用	【私的】保護者の育児に伴う心理的・肉体的負担を解消するための利用	利用延べ人数
4時間未満			1	1
4時間以上		15	8	23
合計		15	9	24
27年度	286	9	101	396

(2) 延長保育事業

急な残業や諸事情により、お迎えの時間に間に合わないで困っている保護者のニーズに対応するため、延長保育を実施しています。延長保育を利用する子どもたちの気持ちに寄り添い、あたたかく家庭的な保育を心がけるとともに、おにぎりなどの食事の提供を行っています。

今年度は、標準時間と保育短時間の朝の時間帯での31分以上の利用回数が大幅に減少しましたが、利用人数は増加しています。

(単位：名)

	利用区分	利用人数	31分以上利用延べ人数
28年度	標準時間	62	253
	短時間（前延長）	3	5
	短時間（後延長）	16	43
	合計	81	301
27年度	標準時間	57	338
	短時間（前延長）	7	65
	短時間（後延長）	14	42
	合計	78	445

(3) 障がい児保育事業

今年度は、5名の加配保育士を配置し、発達障害など特別なニーズを持つ子ども一人ひとりの状態に合わせた保育を実施しました。また、言語聴覚士（年2回）や臨床心理士（年4回）が子どもと面接し、その結果をもとに、担当保育士が関わり方の指導を受けたり、保護者との個別相談につなげることで、連携して子どもたちを支援していく体制づくりに努めました。

3. 地域活動事業

地域に開かれた社会資源として愛される「しおや保育所」づくりをめざし、園内での様々な行事に地域の方々のご参加をいただきました。

今年度は初めて、毎年行われている塩屋中いきいきサロンを保育所で開催しました。保育所に来ていただくことで、地域の方に保育所を身近に感じて愛着を持っていただくとともに、これまで参加できなかった3歳や4歳児の子どもたちも、地域の方とふれあうことができました。

行事などを通して、小中高生から高齢者まで幅広い世代の方たちとの交流を積極的に実施し、地域との連携強化を図りながら保育を実施しました。5歳児は、小学校入学後の生活にスムーズに対応できるよう、給食交流会などを通して小学校生活を体験しました。

年月日	行事内容
28.5. 3	お城まつりキッズパレード
5.17	サイエンス遊び
5.25	うちわ作り見学
6. 3	いちご摘み（垂水町）
6. 5	ふれあいまつり城乾
6.15	カマタマーレ讃岐 スポーツキャラバン
6.17	地域の方による紙芝居
6.27	田植え（金倉町）
7. 2	納涼のタベ
7. 6	ひまわり迷路（飯山高校）
7.15	スイミング教室
7. 20	塩屋中いきいきサロン交流

年月日	行事内容
8. 1 ～ 5	夏☆ボラ受入（中高生21名）
8. 8 ～30	保育実習受入（香川短大4名）
8. 9	ダンボール迷路
8. 20	婆娑羅まつりエイサー披露
9. 14	おじいちゃん・おばあちゃん と遊ぶ会
10.13	地区合同避難訓練
10.14	稻刈り（金倉町）
10.18	チャリティバザー
10.23	城坤ふれあい秋まつり
12.14	サイエンス遊び

年月日	行事内容
12. 15	交通安全キャンペーン
12. 16	カマタマーレ讃岐 スポーツキャラバン
12. 21	塩屋中いきいきサロン交流
29.1. 6	大根ぬき（飯山町）
1. 11	サイエンス遊び
1. 27	もちつき
1. 31	社会見学
2. 1	けろっと劇団人形劇
2. 10	給食交流会（城坤小4年生）
2. 24	お茶会
3. 5	ふれあい城坤春まつり



いきいきサロンでの交流（年2回）

地域のお祭りでエイサーを披露



田植え・稲刈り体験



スポーツキャラバン



なつ☆ボラ・実習生の受け入れ

新規事業 4. 地域貢献活動事業

今年度初めて、保育所の近隣住民の方と合同で避難訓練を行いました。災害時の緊急避難場所としての保育所の役割を果たせるよう備えるとともに、地域の方々にとって身近な保育所となるよう、普段からの交流を大切にしています。

また、今年度は城坤コミュニティセンター建替え工事の為、丸亀市が子育て支援として行っている城坤地区のふれあい広場をしおや保育所で行うこととなり、月1回遊戯室を貸出しています。



地区合同避難訓練



城坤地区子育てひろば

新規事業 5. 多文化共生事業

しおや保育所は、フィリピン・中国・ペルー・ブラジルなど、外国籍の子どもが多く入所しています。ことばや習慣の違いから、はじめはお互いの気持ちが合わずトラブルになることもあります。その異なる文化を知ることで、互いを認め合い、尊重し合える心を育んでいきたいと考えています。

具体的には、人権保育推進活動である「プラタナスのつどい」(年間6回)を利用し、衣服・食べ物・遊び・あいさつ等の異なる文化と関わりを深めながら、いろいろな国の友だちについて学び、それを生活や遊びの中でも活かしていくことで互いに成長し合えると思います。

また、各家庭に配布する手紙などは、日本語以外に英語とスペイン語で翻訳したものを作り、外国籍家庭に配布しています。少しでも連絡事項が理解しやすいように手紙を見せながら直接説明をするなどの配慮に努めています。



生活発表会で世界の国をテーマにした劇を発表



あそびの中で世界への興味を育む

新規事業 6. しおや保育所あり方検討

(1) しおや保育所運営委員会

今年度より、社協内部プロジェクトの一つとして「しおや保育所運営委員会」を新たに立ち上げました。しおや保育所を安定して経営していくため、保育現場と事務局の職員の話し合いの場を設けることで、保育所での問題点とそれに対する解決策の検討や、情報共有等を行いました。今後も保育現場と事務局が密に連携を取ることで、より良い保育所運営を目指します。

年月日	主な協議内容	
28. 4. 12	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会の開催について ・平成28年度予算について ・現金の取り扱いについて
28. 9. 6	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきサロンについて ・地域との合同防災訓練について ・多国籍家庭の増加に伴う問題について ・土曜保育の利用受付について ・写真代の集金について ・消耗品、保育材料等物品の管理について
28. 10. 28	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・教育民生委員会での高木委員の発言について ・今後の保育における確認事項について ・保育所職員の局長面談結果について ・面談結果から見る今後の課題と改善案について

(2) 二者懇談会の開催

しおや保育所をより良くするための話し合いの場として、保護者会と社協の二者懇談会を開催しました。保護者からいただいた、子どもたちに対する保育所としての対応や就労証明書の提出等についての質問に対して説明を行うとともに、事務局からは事業報告として、保育所に通う子どもたちが安心・安全な保育所生活を送り、地域に愛される保育所づくりのために行った取り組みについて報告を行いました。

今後も保護者との意見交換を積極的に行って保育所運営に反映し、保育環境をより一層充実できるよう、連携強化を図ります。

年月日	主な協議内容
29. 3. 9	<ul style="list-style-type: none"> ・障害がある児童に対しての対応について ・災害時においての児童に対する精神的ケアについて ・保育士不足による資格のない先生の増加への不安について ・認定こども園と保育所の教育の違いについて ・就労証明書の提出について ・平成28年度事業報告について ・平成29年度の職員体制について 他

重点項目 V. 介護サービス事業の安定経営

1. 介護保険事業

今年度は「介護事業あり方検討委員会」を設置し、既存事業の改廃や新規事業の検討も含めた、今後の介護事業のあり方について議論を行いました。

中でも通所介護事業は、今年度から地域密着型事業所として運営し、地域の代表者や利用者等からなる運営推進会議において好評価をいただきましたが、利用者数の減少等により、平成29年3月21日をもって事業終了となりました。また、居宅介護支援事業は、地域における人材育成の強化である介護支援専門員地域同行型研修に取り組み、実習指導を行いました。

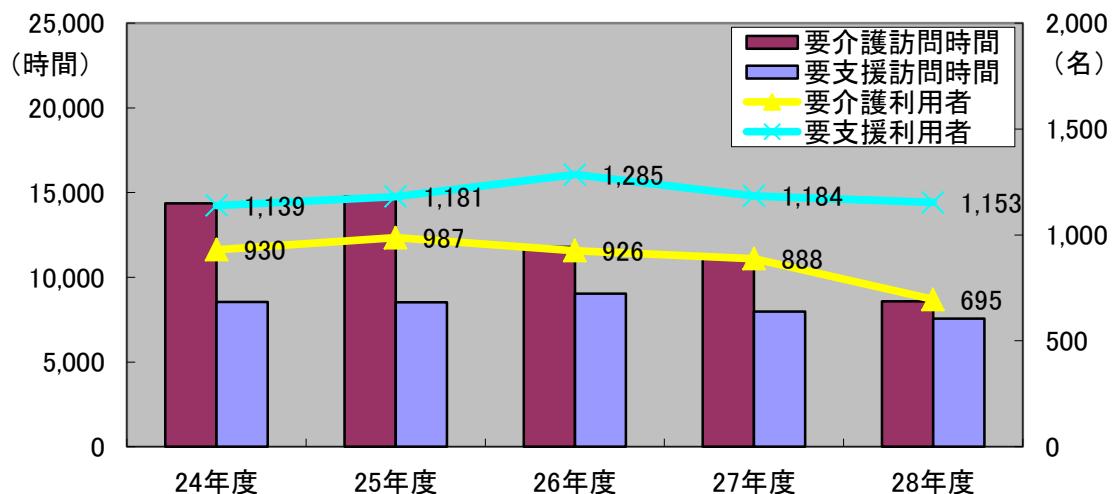
(1) 指定訪問介護・介護予防訪問介護事業（ホームヘルパー）

訪問介護員（ホームヘルパー）を自宅に派遣し、食事・入浴・排泄等の身体介護や調理・掃除・買物等の生活援助を提供しました。ホームヘルパーのまとめ役であるサービス提供責任者は、多様化する利用者ニーズに対し、関係機関と連携して対応しました。

利用状況

(単位:名／時間)

区分	年 度					
		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
実利用者 延べ数	要介護	930	987	926	888	695
	要支援	1,139	1,181	1,285	1,184	1,153
合 計		2,069	2,168	2,211	2,072	1,848
サービス提供 延べ時間	要介護	14,354.7	14,778.2	11,794.2	11,201.0	8,583.2
	要支援	8,540.1	8,519.0	9,042.8	7,970.5	7,563.5
合 計		22,894.8	23,297.2	20,837.0	19,171.5	16,146.7

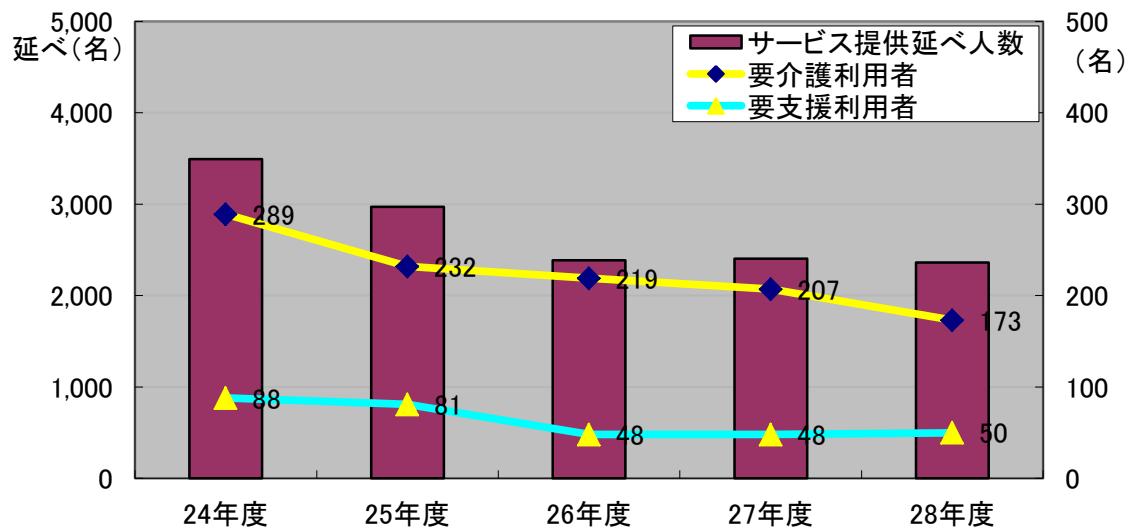


重点項目（2）指定地域密着型通所介護・介護予防通所介護事業（デイサービス）

はんざんデイサービスセンターまで利用者を送迎し、入浴介助・食事介助・音楽療法・レクリエーション等を行いました。少人数でアットホームな雰囲気の中、個々の利用者ニーズに寄り添った支援を行いました。また、運営推進会議を2回開催し、利用者・家族・地域の代表者等にご意見を伺うことで、地域に開かれた事業所運営に努めました。

利用状況 (単位:名)

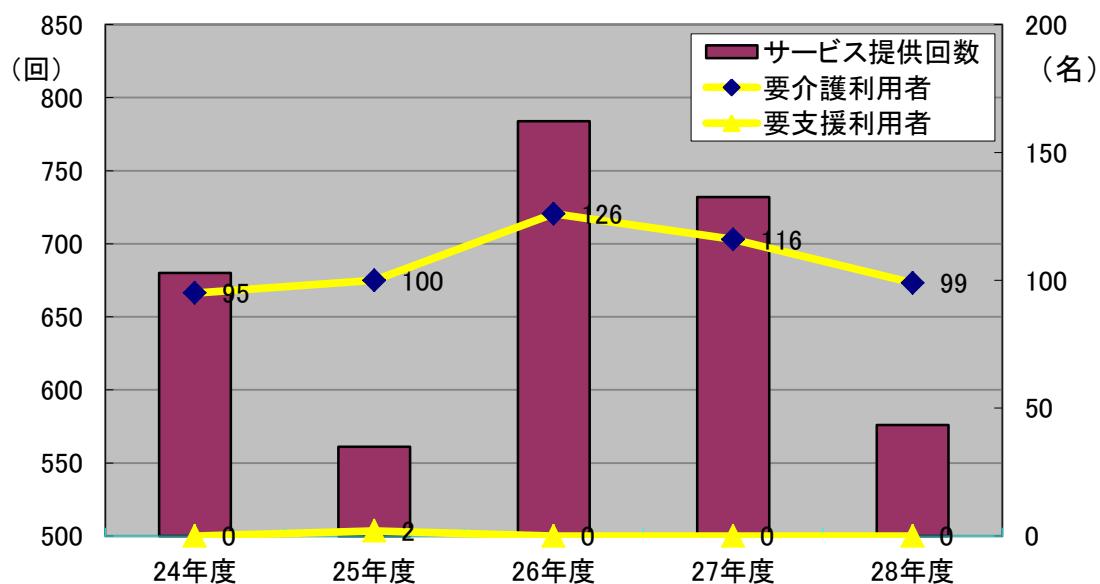
区分	年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
		実利用者	要介護	289	232	219	207	173
延べ数	要支援	88	81	48	48	50		
合 計		377	313	267	255	223		
サービス提供延べ数		3,493	2,970	2,386	2,403	2,363		



(3) 指定訪問入浴・介護予防訪問入浴介護事業（入浴車による家庭入浴）

訪問入浴車で巡回し、利用者宅での入浴サービスを提供することで、身体の清潔保持とともに、気分転換が図れるようコミュニケーションに努めました。また、介護者へ助言や介護資源の情報提供を行うことで、介護者の介護負担軽減に努めました。

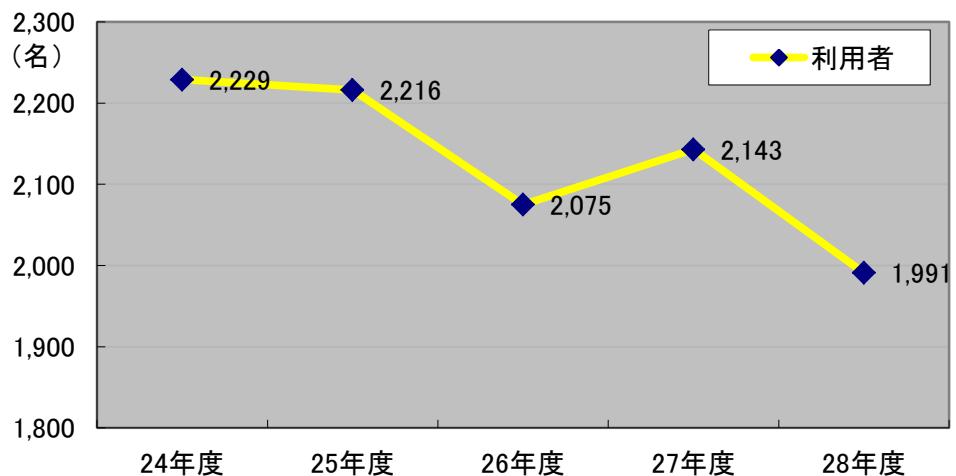
利用状況		(単位:名／回)					
区分	年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		実利用者 要介護 95	98	126	116	99	
延べ数 要支援			2				
合 計		95	100	126	116	99	
サービス提供延べ時間		680	561	784	732	576	



重点項目 (4) 指定居宅介護支援事業（ケアマネジャー）

日常生活における相談に対し助言を行い、介護サービス計画（ケアプラン）を作成しました。介護保険サービスのみに留まらず、地域資源を活かした生活を中心に捉えたプラン作成に取り組みました。また、主任介護支援専門員は指導的立場から地域の人材育成に努めました。

利用状況		(単位:名)				
区分	年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		実利用者延べ数 2,229	2,216	2,075	2,143	1,991
職員1名あたりの担当者数 23.2		25.8	28.8	29.8	27.7	



(5) 介護予防支援事業（介護予防ケアマネジャー）

要支援者の介護サービス計画（ケアプラン）の作成を行いました。また、地域包括支援センターが実施する会議等に参加し、地域における在宅福祉の強化に努めました。

区分	年 度	(単位:名)				
		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
実利用者延べ数		433	468	427	384	415



訪問介護事業



訪問入浴介護事業



通所介護事業



2. ホームヘルプサービス事業

丸亀市より高齢者・障がい児（者）・子育ての事業を受託し、サービス提供を行いました。
地域で自立した生活が維持できるよう、生活援助サービスに努めました。

（1）老人ホームヘルプサービス事業

介護保険の対象とならない一人暮らし高齢者等に対し、安定した自立生活が送れるよう、家事援助・生活指導等を実施しました。

①軽度生活援助事業利用状況

（単位：名／回）

年 度 区 分	2 4 年度	2 5 年度	2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度
実利用者延べ数	450	345	298	315	309
サービス提供延べ回数	2,306	1,749	1,552	1,530	1,497

②生活管理指導員派遣事業利用状況

（単位：名／回）

年 度 区 分	2 4 年度	2 5 年度	2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度
実利用者延べ数	82	148	136	102	87
サービス提供延べ回数	415	700	627	493	510

（2）子育てホームヘルプサービス事業

一時的に育児援助や家事援助等を必要とする児童（0歳児から小学3年生）を養育している世帯に、育児負担の軽減を図るため、ホームヘルパーを派遣しました。

利用状況

（単位：名／時間）

年 度 区 分	2 4 年度	2 5 年度	2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度
実利用者延べ数	実績なし	3	6	2	9
サービス提供延べ時間	実績なし	89	159	32.5	106

（3）介護保険外訪問介護サービス事業

介護保険制度では適用されない、生活上の困りごとの支援サービスを提供しました。介護保険サービスと併用することで、安定した地域生活が継続できるよう援助を行いました。

利用状況

（単位：名／時間）

年 度 区 分	2 4 年度	2 5 年度	2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度
実利用者延べ数	6	102	81	86	96
サービス提供延べ時間	9.0	398.0	180.5	188.1	278.5

※平成25年1月よりサービス開始のため、24年度は3ヶ月間の実績

3. 障害福祉サービス事業

障がい者や難病患者等が、地域や居宅において安心して自立した日常生活を営むことができるよう、訪問介護員（ホームヘルパー）を派遣して、身体介護・家事援助・外出介護等のサービスを行いました。

（1）居宅介護事業（障がい者ホームヘルパー）

利用状況

（単位：名／時間）

年 度 区 分	2 4 年度	2 5 年度	2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度
実利用者延べ数	274	280	263	270	267
サービス提供延べ時間	4,531.5	4,309.3	4,087.5	3,967.5	4178.0

（2）重度訪問介護事業（障がい者ホームヘルパー）

利用状況

（単位：名／時間）

年 度 区 分	2 4 年度	2 5 年度	2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度
実利用者延べ数	24	13	18	12	12
サービス提供延べ時間	1,993.0	405.5	324.5	266.5	168.0

（3）同行援護事業（視覚障がい者ガイドヘルパー）

利用状況

（単位：名／時間）

年 度 区 分	2 4 年度	2 5 年度	2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度
実利用者延べ数	35	61	71	79	66
サービス提供延べ時間	511.5	804.0	832.5	734.0	696.0

※平成24年6月よりサービス開始のため、24年度は10ヶ月間の実績

（4）移動支援事業（ガイドヘルパー）

利用状況

（単位：名／時間）

年 度 区 分	2 4 年度	2 5 年度	2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度
実利用者延べ数	86	91	50	44	31
サービス提供延べ時間	391.0	216.0	191.5	325.5	386.0

4. 研修会の実施・参加

行政や関係機関等が実施する外部での会議や研修会に、109回延べ191名の職員が参加しました。また、外部講師による内部研修を4回実施し、延べ87名の職員が参加しました。

5. 福祉サービス苦情解決事業

介護サービスに関する苦情や要望について、利用者等の立場や環境に十分配慮し、誠意をもって対応しました。

本年度は、職員のモラルに関する1件の苦情を受けましたが、苦情解決第三者委員会への相談事例はありませんでした。早急に全職員にマナー厳守の周知を行いました。

また、透明性のある事業運営のため、苦情解決第三者委員会を開催し、相談受付状況を報告しました。

VI. 指定管理施設（丸亀市保健福祉センター事業）の運営

1. 丸亀市保健福祉センター事業

平成26年度から3年間、ひまわりセンター・綾歌保健福祉センター・飯山総合保健福祉センターの指定管理を受け、施設の特性や設置目的に沿った管理運営の充実に努めました。

今年度は飯山総合保健福祉センターにおいて、7月22日から11月6までの間、市実施の浴室棟天井改修工事が行われ、入浴施設は休業となりましたが、休業期間中は、囲碁・将棋やマッサージ機等を利用する事が高齢者の憩いの場となっているため、娯楽室を無料開放しました。平成29年4月からは、老人健康施設の利用料が改定されるため、市健康課と常に連携を図り、市民のあらゆる要望や質問等に応じ、理解の促進に努めました。

また、障害者差別解消法による障がいのある人への「合理的な配慮」がなされているかを検証するため、3月7日、丸亀市身体障害者福祉連合協会の協力を得て、ひまわりセンターなど指定管理3施設のユニバーサルデザインの再点検を行いました。



(1) 丸亀市保健福祉センター（ひまわりセンター）利用状況

（単位：名）

年 度		26年度 延べ人数	27年度 延べ人数	28年度 延べ人数
会 場				
1階	機能訓練室	9,313	8,209	8,480
	ヘルストロン	7,730	7,242	6,943
合 計		17,043	15,451	15,423

(単位：名／件)

会 場	年 度		2 6 年度		2 7 年度		2 8 年度	
	延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数
3 階	会議室 1	6,718	363	6,302	336	7,329	365	
	調理室	3,079	141	3,034	139	3,018	139	
4 階	会議室 2	7,448	404	6,866	426	6,029	376	
	会議室 3	5,633	360	5,653	371	5,110	344	
	会議室 4	5,150	354	4,399	369	3,777	363	
	研修会議室 1・2	19,379	263	19,769	345	20,240	263	
	研修会議室 3	10,595	301	8,902	294	8,617	250	
合 計		58,002	2,186	54,925	2,280	54,120	2,100	

(2) 丸亀市綾歌保健福祉センター利用状況

(単位：名)

会 場	年 度		2 6 年度		2 7 年度		2 8 年度	
	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数
2 階	プレイルーム	2,161			1,911		2,057	

(単位：名／件)

会 場	年 度		2 6 年度		2 7 年度		2 8 年度	
	延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数
1 階	会議室	1,315	85	923	72	1,037	38	
	相談室 1	117	27	155	43	167	67	
	相談室 2	39	14	37	13	47	16	
2 階	研修室（和室）	652	45	594	47	861	54	
	相談室 3	150	20	375	32	498	36	
	調理実習室	979	72	1,129	72	950	66	
	栄養研修室	1,039	72	1,127	68	1,008	67	
合 計		4,291	335	4,340	347	4,568	344	

(3) 丸亀市飯山総合保健福祉センター利用状況

(単位：名)

会 場	年 度		2 6 年度		2 7 年度		2 8 年度	
	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数
1 階	プレイルーム	1,554			1,208		1,077	

(単位：名／件)

年 度 会 場	2 6 年度		2 7 年度		2 8 年度	
	延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数
1 階	相談室 1	16	6	9	6	7
	相談室 2	22	8	11	7	9
2 階	会議研修室 1・2	4,485	135	5,032	142	5,898
	調理実習室	1,854	90	1,619	81	1,883
	栄養指導室	2,528	122	2,450	119	2,955
合 計		8,905	361	9,121	355	10,752
						364

(単位：名)

年 度 会 場	2 6 年度		2 7 年度		2 8 年度	
	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数
2 階	老人健康施設	77,116		78,323		58,450

(4) 各施設の対応状況

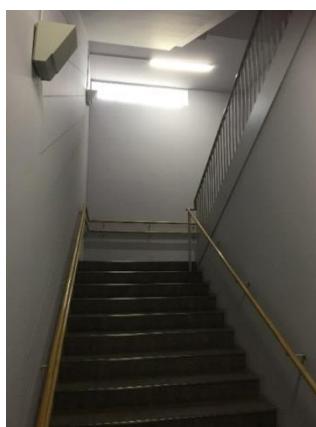
【ひまわりセンター】

・ 照明器具の増設工事

階段の電灯は間接照明で、特に夜間や雨天時にはとても暗くなるため、ユニバーサルデザインの再点検を踏まえ、新たに照明器具を設置することで段差がしっかりと見える明るさを確保しました。

・ 照明器具のLED化工事

研修会議室のダウンライト100W(72個)、60W(62個)の白熱電球(寿命1,000h)を8W相当のLED電球(134個、寿命40,000h)に交換し、省エネルギー、地球温暖化防止に努めました。



照明器具増設



照明器具 LED 化

【飯山総合保健福祉センター】

・ リニューアルオープンの対応

11月7日の入浴施設リニューアルオープンに併せ、脱衣カゴ、脱衣所ベンチ、浴室ラック等を交換し、高齢者の方々が快適に利用できるよう備品を整備しました。



飯山入浴施設



脱衣カゴ等備品整備

VII. 収益事業による財源確保

1. 自動販売機による財源確保

社会福祉事業に必要な財源を確保するため、本会が管理する建物等に飲料自動販売機を設置しています。平成28年度は、4,000,000円を一般会計に繰り出し、地域福祉を推進するための活動費として活用しました。

(単位：円)

設置場所	26年度 収入額	27年度 収入額	28年度	
			収入額	設置台数
ボートレースまるがめ	3,058,455	2,904,481	2,524,132	9台
<u>指定管理施設</u>				
ひまわりセンター	867,476	703,891	709,206	5台
綾歌保健福祉センター	43,127	44,741	44,159	1台
飯山総合保健福祉センター	242,851	204,594	188,923	3台
※綾歌健康づくりふれあいセンター	526,005	1,716		
<u>市役所庁舎等</u>				
市役所別館	102,567	93,482	86,824	1台
消防署	95,074	88,498	85,258	1台
市民広場	317,793	874,940	911,480	3台
丸亀城	65,585	147,668	150,256	1台
計	5,318,933	5,064,011	4,700,238	24台

※綾歌健康づくりふれあいセンターは、平成26年度までの指定管理期間中の収益です。

重点項目VIII. 経営体制の強化

新規事業 1. 経営組織のガバナンスの強化

社会福祉法人制度改革について、本会も社会福祉法人であると同時に、地域住民をはじめ、民生委員児童委員、他の社会福祉法人・福祉施設など、様々な関係者によって構成されている公共性が高い組織であるため、組織のガバナンス強化や事業運営の透明性の確保に一層の自覚をもって取り組み、定款や諸規程を整備しました。

(1) 理事会・評議員会構成の見直し

社会福祉法の改正により、理事会は執行機関、評議員会は議決機関としての機能を明確にしなければならないことから、それぞれの役割に即した構成について、見直しを行いました。

(2) 理事会、評議員会との意見交換

平成28年5月24日の理事会・評議員会において、「丸亀市第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画」についての課題共有に向けた意見交換会を開催しました。意見交換では、計画に関心を持っていただくためには、どのように地域住民に周知するか等、取り組みの方向性について、忌憚のないご意見が出されました。

また、福祉教育プログラムの必要性、地区担当制の在り方、災害時における施設の活用と協力体制等、取り組むべき新たな課題も明らかとなり、今後、より多くの関係者の理解促進に向け、具体的な計画推進につなげていきます。

【理事会・評議員会】

(単位:名)

会議名	年月日	出席者	付議事項
理事会	28. 5. 24	9	<ul style="list-style-type: none">平成27年度事業報告・決算について人事案件 1件、規程案件 1件、報告事項 2件
	12. 22	9	<ul style="list-style-type: none">人事案件 5件
	12. 22	9	<p>【1回目】</p> <ul style="list-style-type: none">平成28年度補正予算(案)について定款変更及び施行細則の廃止について事業の廃止について「総合相談支援課」の新設について人事案件 1件、規定案件 2件、報告事項 6件
			<p>【2回目】</p> <ul style="list-style-type: none">人事案件 1件
	29. 2. 22	8	<ul style="list-style-type: none">評議員選任・解任委員会委員の選任について評議員選任候補者の推薦について苦情解決事業における第三者委員の選任について事業の廃止について規定案件 1件、報告事項 3件

会議名	年月日	出席者	付議事項
理事会	3. 22	8	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業の実施について ・平成28年度補正予算(案)について ・平成29年度事業計画(案)について ・平成29年度収支予算(案)について ・人事案件 3件、規定案件 5件、報告事項 3件
		9	<ul style="list-style-type: none"> ・利益相反取引について
評議員会	28. 5. 27	22	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度補正予算(案)について ・定款変更及び施行細則の廃止について ・事業の廃止について ・「総合相談支援課(仮称)」の新設について ・人事案件 1件、規定案件 7件、報告事項 6件
	12. 22	18	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度補正予算(案)について ・定款変更及び施行細則の廃止について ・事業の廃止について ・「総合相談支援課(仮称)」の新設について ・人事案件 1件、規定案件 2件、報告事項 6件
	29. 3. 22	23	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業の実施について ・平成28年度補正予算(案)について ・平成29年度事業計画(案)について ・平成29年度収支予算(案)について ・報告事項 2件

【意見交換会】

(単位:名)

会議名	年月日	出席者	付議事項
理事会	28. 5. 24	9	<ul style="list-style-type: none"> ・丸亀市第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画 「みんなのふくし丸亀プラン」について ・社会福祉法の制度改革について ・生活困窮者自立支援事業「あすたねっと」について
評議員会	28. 5. 27	17	<ul style="list-style-type: none"> ・丸亀市第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画 「みんなのふくし丸亀プラン」について ・社会福祉法の制度改革について ・生活困窮者自立支援事業「あすたねっと」について

(3) 内部プロジェクト委員会の充実

本会の部署をまたがる重要な課題に適切に対応していくため、新規に8つのプロジェクトを立ち上げ、10の内部プロジェクト委員会において、所属課にかかわらないチームによる組織横断的な体制を構築しました。

各リーダーのもと、メンバーが主体的に問題の解決に関わり、計画・実施・見直し・改善のサイクルを意識しながら、それぞれの課題解決に取り組みました。

プロジェクト名	回数	主な検討内容
広報委員会	9	広報かけはし・事務局通信の編集発行 パンフレット、ホームページの作成更新
防災対策委員会	2	災害ボランティアセンター運営マニュアル作成 災害時実地訓練の企画及び実施
ふくし総合相談支援室（仮）準備委員会	5	相談事業窓口の一本化に関する人員体制・ ハード面の整備
介護事業あり方検討委員会	8	介護事業5ヵ年計画の検討 介護事業の経営管理と事業の見直し
みんなのふくし丸亀プラン推進委員会	8	計画の広報周知（策定時、進捗状況） 計画の進捗管理と事業の見直し
職員研修計画検討委員会	3	課内別生涯研修計画の作成 個人別年内計画の作成
会計事務改善委員会	5	内部管理体制の点検 課題の洗い出しと改善策の立案
認知症高齢者等見守りネットワーク 推進委員会	5	認知症に関する学習会等の企画実施 認知症徘徊者等実地訓練の企画実施
地区担当推進委員会	5	地区担当の組織化、担当業務の明確化 生活支援体制の整備
しおや保育所運営委員会	3	保育所安定経営や特色のある保育のあり方 の検討

新規事業 2. 財務規律の強化

（1）会計処理における内部管理体制の強化及び現金等取扱いの厳格化

社会福祉法人改革に向けた財務規律の強化に取り組みました。

会計事務改善委員会では、昨年策定した「現金等会計事務マニュアル」を基に、会計上の課題点を検討し、具体的な事例を解決しています。全職員に対し、会計全般を通しての「現状の課題」、「取り組むべき課題」、「課題に対する具体的な改善策」について、アンケートを実施しました。このアンケートを基に、事故防止を優先した牽制体制づくりを行い、現金取扱いの方針を立て、法人制度改革に沿った財務規律の強化を図りました。

《プロジェクト名：会計事務改善委員会》

開催日	議題
28. 6. 27	・委員会の組織、前年度の振り返りと今後の取組体制について ・「現金等会計事務マニュアル」に基づく会計事務の現状について
7. 26	・検討課題の洗出し作業（連絡ボックスの管理、少額立替えについて、消耗品等物品の管理、両替・釣銭の取扱い 他）

8. 23	<ul style="list-style-type: none"> ・介護事業課・保育所での事務職員の常駐について ・集金事務における課題と改善策について（改善の取り組み報告）
9. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金における集金について ・介護事業課常勤事務職員配置におけるメリット・デメリットについてのアンケート結果（改善の取り組み報告）
10. 28	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人、生活支援員、ヘルパーの金銭取扱い課題と解決策 ・個人情報保護における課題 (U S B、メール、ファイアウォール、S K Y S E A)

（2）信頼される会計及び法改正に伴う組織経営指導

顧問会計士による指導は、通常の会計面だけでなく、新たな社会福祉法人改革への移行を踏まえた諸手続きについて勉強会を開催し、法人組織体制の整備を着実に進めました。

新規事業 3. 職場の環境づくりと人材育成

（1）働きやすくやりがいを感じられる職場づくり

福祉・介護・保育現場では、人材の育成と同時に職場への定着の促進も重要な課題となっています。働きやすくやりがいを感じられる職場づくりを推進するため、以下のこと取り組みました。

〔主な改善内容〕

①夏季健康管理休暇の新設及び取得期間の延長

有期雇用職員に、3日を限度として夏季健康管理休暇を付与しました。また、取得期間については、全職員を対象に、従来の3ヶ月間（7月～9月）から4ヶ月間（6月～9月）へ1ヶ月間延長し、休暇をより取得しやすくなるよう改善を図りました。

②職員に分かりやすい就業規則の改正

有期雇用職員の忌引日数等については詳細を省略していましたが、全文を記述しました。今後も、働く職員に分かりやすい規則の改正を行います。

③インフルエンザ予防接種のための休暇の新設

介護業務に直接従事する職員について、予防接種のための特別休暇を付与しました。

④勤務時間区分の追加

パートタイム保育士の勤務時間区分を追加し、より多様な勤務ができるよう改正しました。

⑤介護事業の給与等支給に関する職務内容の見直し

人材確保の一環として、やる気のある非定型的パートタイム介護員には、サービス提供責任者の業務を任せられるよう職務内容を拡大しました。

⑥所定勤務時間の変更

処遇改善の足かせとなっていた職種による所定勤務時間の違いについて、職員に不利にならないよう現給補償を行い、全ての職員の就業時間の統一を行いました。

(2) 人材育成

①専門性の向上や職員規範の確立

職員が意欲を持っていきいきと働くことができる組織づくりを進めるとともに、常に課題意識を持ち、本会の目的に沿って自ら考え行動できる職員の育成を進めるため、職員研修計画検討委員会を立ち上げました。

昨年策定した「職員研修計画」に基づき、職員研修を円滑かつ効果的に推進するための作業として、各種の研修履歴簿を作成し、個人が受講した研修を職員全員にフィードバックする場づくりについて検討し、各部署で実施しました。

今後も、これまで取り組んできた職場研修の現状を総点検し、継続して改善策を検討していきます。

《プロジェクト名：職員研修計画検討委員会》

開催日	議題
28. 6. 20	<ul style="list-style-type: none">委員会組織と今年度のスケジュールについて職員研修記録簿、個人研修記録簿の作成方法と履歴管理について
8. 26	<ul style="list-style-type: none">各課における研修状況と課題について研修報告の振り返り状況と職員の研修ニーズの把握について受講修了書・資格者証調査表作成について
10. 25	<ul style="list-style-type: none">平成29年度 職員研修について職場研修の現状チェックと改善策の検討

②役職員研修の推進

〔役職員研修〕

年月日	研修内容	場所
28. 5. 6	香川県内社協地域福祉推進委員会	高松市
7. 14～15	中国・四国都市社協連絡協議会 平成28年度総会及び研修会	米子市
8. 18	地域福祉推進委員会総務部会・地域福祉部会合同研修会	高松市
9. 16	平成28年度市町社会福祉協議会常務理事・事務局長会議	高松市
9. 29	平成28年度第3回地域福祉推進委員会	高松市
10. 7	トップセミナー及び管理職員研修会	丸亀市
11. 15～16	平成28年度県内社協常務理事・事務局長セミナー	東かがわ市
29. 1. 27	平成28年度第4回地域福祉推進委員会	高松市

〔職員基礎研修〕

年月日	研修内容	場所
28. 4. 28	平成28年度「社協職員基礎研修」	高松市
7. 14～15	平成28年度地域福祉（コミュニティソーシャルワーク）実践者養成研修	高松市
7. 25～29	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング	神奈川県
8. 6～10	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング	神奈川県
10. 4	平成28年度県内社協中堅職員研修	高松市
11. 17～18	平成28年度地域福祉（コミュニティソーシャルワーク）実践者スキルアップ研修	高松市
12. 1	人権問題研修講演会	丸亀市
29. 1. 26	香川県内社会福祉協議会実践研究大会	高松市

〔専門研修（総務）〕

年月日	研修内容	場所
28. 6. 7	全国安全週間周知会	丸亀市
6. 9	香川県社会福祉法人経営者協議会平成28年度第1回総会	高松市
6. 13	新規学校卒業予定者対象求人手続説明会	丸亀市
6. 13	メンタルヘルス研修会	丸亀市
6. 15	健康保険・厚生年金保険事務講習会	善通寺市
6. 21	平成28年度算定基礎届事務講習会	丸亀市
7. 13・7. 20	職業能力開発推進者講習	高松市
7. 22	平成28年度広報力アップ研修会	高松市
8. 3	平成28年度社会福祉法人会計基礎研修会	高松市
8. 3	安全衛生講習会	丸亀市
8. 10	社会福祉法人制度改革の施行に向けた説明会	高松市
8. 22	社会福祉法改正への対応に関する意見交換会	高松市
9. 2	平成28年度メンタルヘルス講習会	高松市
9. 6	全国労働衛生週間説明会	丸亀市
9. 14	情報セキュリティ対策セミナー	高松市
9. 21	福祉サービス苦情解決事業研修会	高松市
10. 7～8 11. 18	社会福祉会計簿記講座	高松市
10. 19	改正育児・介護休業法等説明会	高松市
11. 11	平成28年度人事労務管理セミナー	高松市
11. 16	社会福祉法人制度改革対応セミナー	高松市
11. 18	平成28年分年末調整説明会	丸亀市
12. 2	労働者派遣・請負事業の適正実施セミナー	高松市
12. 13	平成28年度後期メンタルヘルス研修会	丸亀市
29. 1. 20	平成28年度接遇講習会	松山市
2. 13	平成28年度公正採用選考人権啓発推進員研修会	丸亀市
3. 1	社会福祉法人制度改革対応会計研修会	高松市

〔専門研修(地域福祉)〕

①生活困窮者自立支援事業関連

年月日	研修内容	場所
28. 4. 27	生活福祉資金貸付事業・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業等担当者定例会	高松市
5. 11	高齢者虐待防止研修会	丸亀市
5. 18	高齢者虐待防止等実務者会議	丸亀市
5. 23	丸亀市生活困窮者自立支援運営協議会	丸亀市
5. 24	N P O 法人 K H J 香川県オーリープの会定例会	高松市
5. 25	生活福祉資金貸付事業・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業等担当者定例会	高松市
6. 3	第1回中讃圏域精神保健福祉関係ネットワーク会議	丸亀市
6. 17	生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	坂出市
6. 18	日本教育学会四国地区研究活動 シンポジウム子どもの貧困を考える	高松市
6. 22	丸亀地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	丸亀市
7. 8	障がい者の就労支援セミナー	宇多津町
7. 13	高齢者虐待防止等実務者会議	丸亀市
8. 7	ひきこもりサポートフォローアップ研修	高松市
8. 24	生活福祉資金貸付事業・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業等担当者定例会	高松市
8. 31～ 9. 2	生活困窮者自立支援制度人材養成研修就労支援員養成研修（前期）	東京都
9. 9～11	第49回公的扶助研究全国セミナー	京都府
9. 23	第2回中讃圏域精神保健福祉関係ネットワーク会議	丸亀市
9. 28	生活困窮者自立支援制度担当者連絡会	高松市
10. 11	高次脳機能障害支援関係職員研修会	高松市
10. 26	平成28年度精神保健福祉関係者研修会	丸亀市
10. 26	生活福祉資金貸付事業・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業等担当者定例会	高松市
11. 3	ひきこもりサポートフォローアップ研修	高松市
11. 4	ひきこもり支援者研修会	丸亀市
11. 7～ 8	全国生活福祉資金貸付事業運営研究協議会	東京都
11. 12～13	第3回生活困窮者自立支援全国研究交流大会	神奈川県
11. 17	派遣労働者セミナー	丸亀市
11. 25	第3回中讃圏域精神保健福祉関係ネットワーク会議	丸亀市
12. 7～ 9	生活困窮者自立支援制度人材養成研修就労支援員養成研修（後期）	神奈川県
12. 19～22	生活困窮者自立支援制度人材養成研修家計相談支援事業従事者養成研修	神奈川県
29. 1. 18	高齢者虐待防止等実務者研修会	丸亀市
1. 25	生活福祉資金貸付事業・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業等担当者定例会	高松市
2. 21	高齢者虐待防止等実務者研修会	丸亀市
2. 22	生活福祉資金貸付事業・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業等担当者定例会	高松市
2. 27	市町村等の相談員向け研修会	高松市
3. 3	生活困窮者支援フォーラム	高松市
3. 3	第4回中讃圏域精神保健福祉関係ネットワーク会議	丸亀市
3. 6	障害者雇用連絡会議	丸亀市

②香川おもいやりネットワーク関連

年月日	研修内容	場所
28. 6. 1	香川おもいやりネットワーク事業 総合相談・支援担当者等連絡会	高松市
8. 10	香川おもいやりネットワーク事業 相談・支援担当者研修会	高松市
8. 31	香川おもいやりネットワーク事業 相談・支援担当者研修会	高松市
11. 24	対人援助研修会	高松市
29. 1. 23	香川おもいやりネットワーク事業 総合相談・支援担当者等連絡会	高松市
2. 8	香川おもいやりネットワーク事業 実践総括セミナー	高松市

③日常生活自立支援事業関連

年月日	研修内容	場所
28. 4. 27	生活福祉資金事業・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業等担当者定例会	高松市
5. 17	精神保健福祉連絡会「かめたの会」総会	丸亀市
5. 25	日常生活自立支援事業新規登録生活支援員研修会	高松市
6. 4	日常生活自立支援事業専門員研修会（あんしんネット勉強会）	高松市
6. 22	生活福祉資金事業・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業等担当者定例会	高松市
7. 21	日常生活自立支援事業及び法人後見担当者会	高松市
7. 27	生活福祉資金事業・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業等担当者定例会	高松市
8. 3	日常生活自立支援事業生活支援員等集合研修会	高松市
9. 10	高齢者や障害者のあんしん相談会	丸亀市
9. 28	生活福祉資金事業・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業等担当者定例会	高松市
10. 1	日常生活自立支援事業専門員研修会（あんしんネット勉強会）	高松市
10. 11	高次脳機能障害支援関係職員研修会	高松市
10. 26	生活福祉資金事業・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業等担当者定例会	高松市
29. 3. 6	日常生活自立支援事業生活支援員等ブロック別研修会	丸亀市

④ボランティアセンター事業関連

年月日	研修内容	場所
28. 7. 6	平成28年度災害ボランティアセンター運営者研修会	高松市
9. 9	災害ボランティア研修会	丸亀市
9. 10	災害ボランティアセンター運営者研修会	丸亀市

⑤ファミリー・サポート・センター事業関連

年月日	研修内容	場所
28. 10. 6	平成28年度ファミリーサポートネットワーク事業 「全国アドバイザー講習会・交流会（全国講習会）」	大阪府
11. 21	平成28年度リスクマネジメント実践セミナー 「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン ～ファミリー・サポート・センターで活用するための実践セミナー～」	大阪府

⑥共同募金関連

年月日	研修内容	場所
28. 5. 10	テーマ募金実施に向けての意見交換・研修会	高松市
6. 22～23	第7回赤い羽根全国ミーティングin宮城 じぶんの町を良くする会議	宮城県
7. 5	平成28年度第1回市町共同募金委員会事務局長会議	高松市
8. 5	平成28年度共同募金従事者研修会	高松市
11. 17	平成28年度テーマ募金参加団体連絡会	高松市
29. 2. 23	平成28年度第2回市町共同募金委員会事務局長会議	高松市

⑦その他

年月日	研修内容	場所
28. 6. 4	あの日を忘れないin丸亀	丸亀市
6. 4	平成28年度香川コミュニティソーシャルワーク実践研究会総会・研修会	高松市
6. 13	平成28年度接遇研修会	高松市
6. 18	シンポジウム子どもの貧困を考える	高松市
6. 24	平成28年度第2回地域福祉推進委員会 総務部会	高松市
6. 29	平成28年度第1回地域福祉推進委員会「防災対応検討プロジェクトチーム」	高松市
7. 2～4	第14回四国地域福祉実践セミナーin高知 第20回こんぴら地域福祉セミナー	高知県
7. 4～5	丸亀市民生委員児童委員県外研修	山口県
8. 8	平成28年度第3回地域福祉推進委員会 地域福祉部会	高松市
8. 28	J Cと社会福祉協議会をつなぐ減災セミナー	高松市
9. 7～8	地域生活支援ワーカー（地域福祉コーディネーター）リーダー研修会	東京都
9. 7	平成28年度第2回地域福祉推進委員会「防災対応検討プロジェクトチーム」	高松市
9. 27	コミュニティソーシャルワーク実践研究会中讃ブロック研修会	善通寺市
10. 29	依存症と自殺問題を考えるセミナー	高松市
11. 7	平成28年度第4回地域福祉推進委員会 地域福祉部会	高松市
11. 22	コミュニティソーシャルワーク実践研究会中讃ブロック研修会	善通寺市
11. 24	対人援助研修会	高松市
11. 30	平成28年度香川県生活支援コーディネーター養成研修	高松市
12. 20	平成28年度災害福祉支援セミナー	高松市
29. 1. 11	平成28年度第5回地域福祉推進委員会 地域福祉部会	高松市
1. 21～22	丸亀市連合自治会長・コミュニティ会長研修会	愛知県
2. 10	平成28年度第3回地域福祉推進委員会 総務部会	高松市
2. 13～14	平成28年度四国ブロック市町村社会福祉協議会研究協議会	徳島県
2. 25	広がれ、こども食堂の輪！全国ツアーinかがわ	高松市
3. 8	平成28年度第6回地域福祉推進委員会 地域福祉部会	高松市
3. 11	丸亀市コミュニティ協議会連合会総合防災訓練	丸亀市
3. 27	平成28年度第3回地域福祉推進委員会「防災対応検討プロジェクトチーム」	高松市
3. 27	子育てと介護のダブルケア講演会	坂出市

〔基礎研修（介護外部研修）〕

年月日	研修内容	場所
28. 4. 26	おたがいさま中讃介護保険の学習会	丸亀市
4. 26	安全運転管理者協議会通常総会	丸亀市
5. 17	田村クリニックティータイムミーティング	丸亀市
5. 18	認知症についての勉強会（城北コミュニティ）	丸亀市
5. 19	平成28年度安全運転管理者講習会	坂出市
5. 22	たるみ荘内覧会	丸亀市
5. 28	丸亀市立郡家小学校PTA講演会	丸亀市
5. 31	指定特定（障害児）相談支援事業所開設に向けた研修会	丸亀市
6. 4	あの日を忘れないin丸亀シンポジウム	丸亀市
6. 9	介護職員処遇改善加算平成27年度実績報告説明会	高松市
6. 21	平成28年度地区社協パワーアップ講座	高松市
6. 23	介護経営セミナー（平成30年への準備と行政処分倍増の実地指導）	高松市
6. 27	平成28年度介護技術等に関する講習会（腰痛予防エクササイズ）	高松市
7. 7	雇用管理者責任者講習（全7回：7/7、8/3、9/6、9/15、10/6、11/2、12/8）	高松市
7. 7	平成28年度指定障害福祉サービス事業者集団指導の実施について	高松市
9. 7	田村クリニックティータイムミーティング	丸亀市
9. 8	平成28年度全国労働衛生週間説明会	坂出市
9. 21	平成28年度福祉サービス苦情解決事業研修会	高松市
9. 22	平成28年度発達障害支援関係職員向け公開講座	高松市
9. 27	平成28年度地域福祉（コミュニティソーシャルワーク）実践者養成研修	高松市
10. 6	平成28年度香川健康づくり推進セミナー	高松市
10. 20	地域連携研修会	坂出市
10. 21	第17回介護保険推進全国サミット	岡山市
10. 23	児童虐待を考えるセミナー	丸亀市
11. 4	平成28年度ひきこもり支援者研修会	丸亀市
11. 11	平成28年度安全運転管理者講習会	丸亀市
11. 15	コンプライアンス・虐待防止セミナー	高松市
12. 1	平成28年度認知症予防研修会	高松市
12. 7	平成28年度自殺予防について公開講座（丸亀病院長）	丸亀市
12. 8	おたがいさま中讃応援者交流会	丸亀市
29. 1. 22	第16回認知症を考える会	宇多津町
1. 27	腰痛予防対策講習会	高松市
2. 10	地域福祉フォーラム	高松市
2. 25	平成28年度発達障害保護者学習会	高松市
3. 8	平成28年度実習指導者会	丸亀市
3. 17	平成28年度香川県若年性認知症家族交流会	高松市
3. 17	障害者差別解消法に関する研修会	宇多津町
3. 25	障害者差別解消法に関する研修会	高松市
3. 27	子育てと介護のダブルケア講演会	坂出市

〔専門研修（介護外部研修）〕

年月日	研修内容	場所
28. 4. 26	第1回丸亀市介護サービス事業者連絡会	丸亀市
5. 11	高齢者虐待防止研修会	丸亀市
5. 13	地域へ広がる摂食嚥下リハ	丸亀市
5. 14	平成28年度同行援護従事者養成研修（一般課程） (全3回：5/14、5/22、5/28)	高松市
5. 18	高齢者虐待防止等実務者会議（5/18、7/13、2/21）	丸亀市
6. 6	平成28年度発達障害児（者）支援関係職員研修会 (全6回：6/6、6/9、6/15、7/6、7/17、7/30)	高松市
6. 7	中讃地域の主任介護支援専門員連絡勉強会	坂出市
6. 8	平成28年度介護支援専門員実務研修指導者打合せ会 (全4回：6/8、7/1、9/21、1/10)	高松市
6. 23	平成28年度介護支援専門員研修（スキルアップ研修） (全4回：6/23、6/25、6/29、7/7)	高松市
6. 30	丸亀市地域包括ケアシステム推進協議会 生活支援・予防部会 (6/30、2/16)	丸亀市
6. 30	丸亀市地域包括ケアシステム推進協議会 医療・介護連携推進部会 (6/30、8/10、2/16)	丸亀市
7. 13	介護支援専門員演習指導（7/13、8/4）	高松市
7. 13	平成28年度第1回居宅介護事業所連絡会	丸亀市
7. 20	平成28年度丸亀市介護サービス事業者連絡会 第1回居宅サービス部会	丸亀市
8. 8	平成28年度介護職のための観察と記録・アセスメント研修 (全2回：8/8、10/14)	高松市
8. 20	平成28年度同行援護従事者養成研修（応用課程） (全2回：8/20、8/27)	高松市
8. 21	平成28年度第2回香川県主任介護支援専門員活動支援委託事業合同研修会	高松市
9. 15	ADL・IADL自立に向けたリハビリテーション（橋本病院）	丸亀市
10. 4	平成28年度香川県介護支援専門員実務研修の実地見学学習に関する説明会	高松市
10. 5	平成28年度発達障害児（者）研修修了者フォローアップ研修会（事例検討会） (全2回：10/5、2/22)	丸亀市
10. 11	中讃地域の主任介護支援専門員連絡勉強会	丸亀市
10. 15	平成28年度介護支援専門員専門研修課程演習指導	高松市
11. 4	平成28年度主任介護支援専門員更新研修演習指導	高松市
11. 12	平成28年度介護保険部主催中讃地区勉強会	丸亀市
11. 21	平成28年度介護支援専門員実務研修実習指導者等研修会	高松市
11. 30	香川県介護支援専門員資質向上検討委員会疾病別マネジメントに関するワーキング	高松市
12. 8	丸亀市地域包括ケア医療介護連携研修会	丸亀市
12. 15	主任介護支援専門員フォローアップ研修会	高松市
12. 15	肺炎予防に対するリハビリテーション（橋本病院）	丸亀市
12. 26	平成28年度介護支援専門員実務研修指導者研修会 (全4回：12/26、2/18、3/5、3/12)	高松市
12. 25	発達障害者地域支援体制強化事業一般公開講座	丸亀市

年月日	研修内容	場所
29. 1. 12	介護予防・日常生活支援総合事業についての説明会	丸亀市
1. 18	丸亀市高齢者虐待防止等実務者会議研修会	丸亀市
1. 19	医師とケアマネジャーの意見交換会	丸亀市
2. 11	平成28年度発達障害児（者）研修修了者フォローアップ研修会 (全4回：2/11、2/23、2/28、3/1)	高松市
2. 19	訪問介護サービス提供責任者研修セミナー	岡山市
2. 21	高齢者虐待防止等実務者会議	丸亀市

〔基礎研修（介護内部研修）〕

年月日	研修内容	場所
28. 8. 27	救急救命法	飯山分室
11. 24	メンタルヘルスについて	飯山分室
12. 16	介護実技講習会	飯山分室
29. 1. 20	腰痛予防について	飯山分室

〔専門研修（保育所）〕

年月日	研修内容	場所
28. 4. 9	平成28年度丸亀市保育所職員研修会	丸亀市
4. 26	平成28年度総会及び第1回所長研修会	高松市
5. 14	音楽あそび講習会	丸亀市
5. 19	しおや保育所職員研修 喜岡先生	丸亀市
5. 27	第1回保育士研修会	高松市
5. 31	丸亀市人権・同和教育研究協議会	丸亀市
6. 4	第2回人権保育学習会	丸亀市
6. 11	平成28年度丸亀市保育所職員研修会	丸亀市
6. 16	しおや保育所職員研修 小柳先生	丸亀市
6. 17～18	保健・衛生専門研修会	神奈川県
6. 23	しおや保育所職員研修 笠井先生	丸亀市
6. 29～7. 1	平成28年度乳児保育担当者研修会	大阪府
7. 4	平成28年度食育推進研修会	高松市
7. 12～13	まちづくり出前講座（AED・応急手当）	丸亀市
7. 22	平成28年度保育所所長研修	高松市
7. 23	平成28年度香川県特別支援教育研究会夏季講演会（早期教育）	高松市
7. 26～27	サマースクール中国大会	広島県
7. 27	第26回発達支援講演会	高松市
7. 28	平成28年度幼児期の体力向上指導者研修会	高松市
8. 2	平成28年度第2回保育士研修会	高松市
8. 3	安全衛生講習会	丸亀市
8. 17～18	サマースクール大阪大会	大阪府
8. 20	HANAセミナー 講習会	丸亀市
8. 25	平成28年度第3回香川県保育所等臨時雇用保育士研修会	丸亀市

年月日	研修内容	場所
8. 25	しおや保育所職員研修 小柳先生	丸亀市
8. 31	平成28年度香川県保育協議会第2回所長研修会	高松市
9. 2	平成28年度メンタルヘルス研修会	高松市
9. 2	人権セミナー	丸亀市
9. 6	全国労働衛生週間説明会	丸亀市
9. 9	平成28年度保育所主任（中堅）保育士研修会①	高松市
9. 21	平成28年度福祉サービス苦情解決事業研修会	高松市
10. 12	保育研究会	丸亀市
10. 15	幼児教育合同研修会	丸亀市
10. 17～18	平成28年度香川県保育所等障害児保育担当保育士研修会	高松市
10. 20	しおや保育所職員研修 笠井先生	丸亀市
10. 22～23	第33回香川県就学前人権教育研究集会	丸亀市
11. 4	アレルギー疾患講習会	岡山県
11. 9	平成28年度保育所主任（中堅）保育士研修会②	高松市
11. 15	児童虐待防止講演会	高松市
11. 17～18	第50回全国保育士会研究大会	兵庫県
11. 26	平成28年度児童福祉施設におけるクッキング講座	高松市
11. 30	平成28年度第3回保育士研修会	高松市
12. 14	平成28年度四国ブロック保育士会リーダーセミナー	高松市
12. 26	ノロウイルス食中毒予防講習会	丸亀市
29. 1. 11	外あそび体育指導法管理職者対象公開講座 研修講演会	高松市
1. 25	平成28年度第4回保育士研修会	高松市
2. 3	平成28年度初等教育研究発表会	高松市

4. 民間財源と積立金の状況

（1）寄付金収入状況

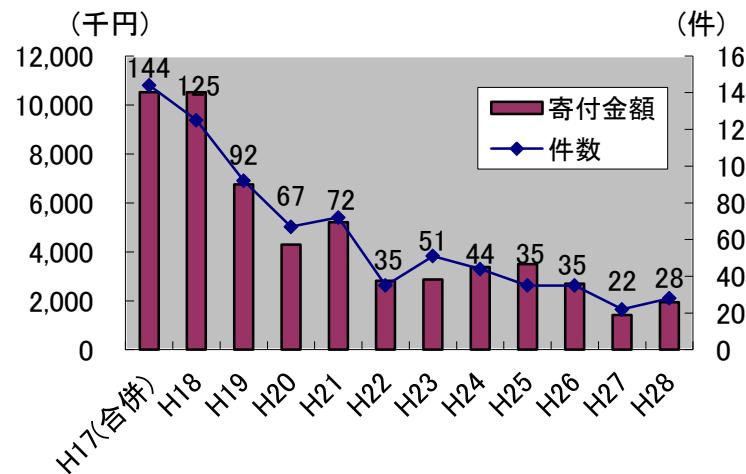
(単位:項目 上段/件・下段/円)

項目	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
香典返し	44	35	35	22	28
寄付金	3,375,000	3,500,000	2,700,000	1,420,000	1,935,000
一般寄付金	20	22	32	29	23
	1,795,686	2,906,374	1,830,214	3,404,786	3,988,895
合計	5,170,686	6,406,374	4,530,214	4,824,786	5,923,895

物品寄付	18	43	112	163	262
	2,878,700	1,198,361	270,765	346,385	89,040

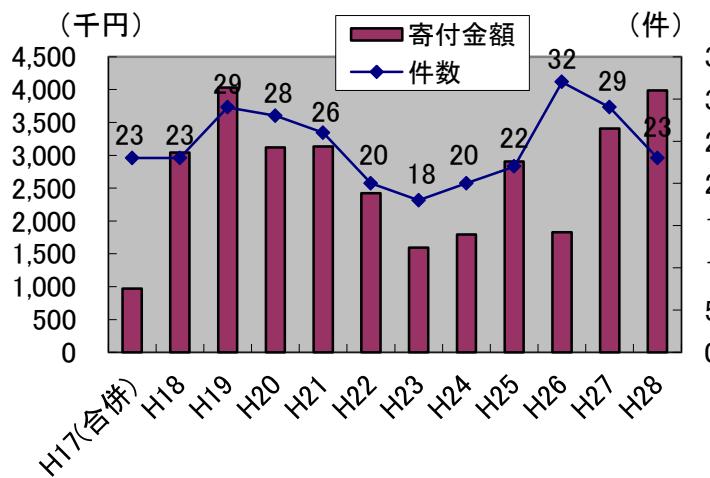
※物品寄付262件内訳（育児用品130件、支援物資等112件、介護用品等17件、切手・商品券3件）

香典返し寄付金



第一生命労働組合 様

一般寄付金



NPO法人かがわ子育て親育ちの会 様

(2) 会費収入状況

会費収入は、小幅な増減を繰り返しており、一般会費は、他の会費と一括徴収している地区が多く、社協会費に対する意識が低い現状があります。住民との懇談の場づくり等による理解促進に努めることが更に重要です。

(単位：会員区分 上段／件・下段／円)

会員区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
一般会員 (世帯)	24,411	24,250	23,943	24,185	23,378
	2,441,100	2,425,000	2,394,300	2,418,500	2,337,800
賛助会員 (名)	261	251	247	250	248
	485,000	468,000	461,000	473,000	462,000
団体会員 (団体)	257	286	263	270	268
	1,380,000	1,552,000	1,439,000	1,475,000	1,438,000
合 計	4,306,100	4,445,000	4,294,300	4,366,500	4,237,800

(3) 共同募金助成金状況（地域福祉推進費）

今年度は、共同募金助成として、社協広報活動事業や買物支援事業など4事業に助成を受けました。また、地域歳末たすけあい募金助成では、民生委員児童委員、コミュニティ会長にご協力をいただき生活困窮世帯への見舞金、17地区コミュニティの福祉活動への助成、養護学校等の子どもたちへのお年玉など、地域で支援を必要とする方に助成を行いました。

今後も貴重な善意の民間財源としての共同募金を効果的に活用し、丸亀市の地域福祉活動を充実させるための事業展開に努めます。

社会福祉協議会地域助成額

(単位:円)

内 容	26年度決算額	27年度決算額	28年度決算額
共同募金助成（地域福祉推進事業）	8,612,113	8,414,673	3,616,462
歳末たすけあい募金助成	5,761,625	5,676,450	5,746,125
合 計	14,373,738	14,091,123	9,362,587

(4) 積立資産と繰越金の状況

積立金については、取崩額が53,636,020円、積立額が29,785,622円となり、取崩額が積立額を大きく上回り、積立金全体で23,850,398円の減少となりました。

中でも、介護事業では、介護報酬減により人件費増額分を賄いきれず、今年度も2,000万円の取り崩しを行いました。そのため、経営が厳しかった通所介護事業を終了し、人員配置の見直しを行い、経営の安定化を図りました。

また、保育所事業では、児童受入数の減少や人件費の増加により、当初予定していた積立ができない状況となり、今後、課題の整理と事業のあり方について検討を行う予定です。

一方、災害被災者及び復旧支援積立資産については、熊本地震支援金としてご寄付いただいた2,606,663円から、復旧・防災のための備品購入費他として844,020円を使用し、有効に役立てることができました。

今後も、事業の可視化を推進するとともに積立金の有効活用を図り、地域や住民ニーズに沿った地域福祉活動の展開に貢献してまいります。

積立資産

(単位:円)

積立金の名称	26年度決算額	27年度決算額	28年度決算額
財政調整積立資産	60,000,000	60,000,000	60,000,000
福祉のまちづくり積立資産	286,544,877	284,770,513	279,157,472
災害被災者及び復旧支援積立資金	30,000,000	30,000,000	31,762,643
固定資産等取得及び修繕積立資産	60,000,000	60,000,000	60,000,000
介護事業安定積立資産	253,500,256	241,000,256	221,000,256
保育所人件費積立資産	0	0	0
保育所施設・設備整備積立資産	5,000,000	13,000,000	13,000,000
合 計	695,045,133	688,770,769	664,920,371
前年度比	—	△6,274,364	△23,850,398

5. 社協らしい広報戦略の展開

(1) 広報誌『かけはし』の充実

読者である市民に手に取ってもらい、読んでもらえる広報誌を目指し、今年度も誌面内容の充実に努めました。

広報編集委員会で意見を出し合い、読者アンケートから寄せられた意見や要望を反映させた特集記事や、職員の写真を入れた漫画記事、アンケートのちょっととした意見や質問にも柔軟に答えられるよう、新しく「オルデのお部屋」というコーナーを作るなど、読みやすく内容が伝わりやすい、誌面を通して地域の方のニーズに応えられるよう工夫を凝らした広報誌づくりを行っています。



身近な情報を特集に



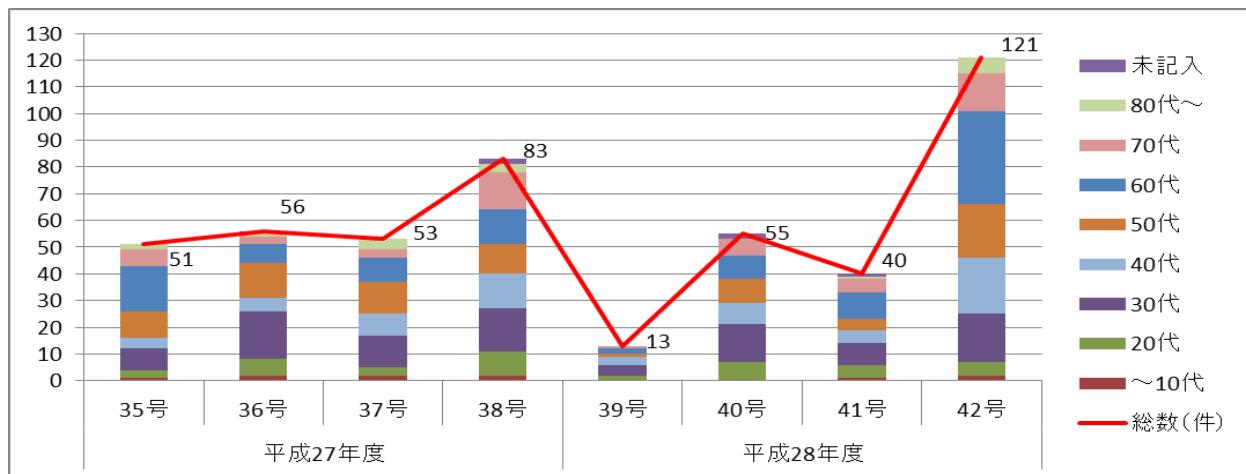
漫画記事でわかりやすく



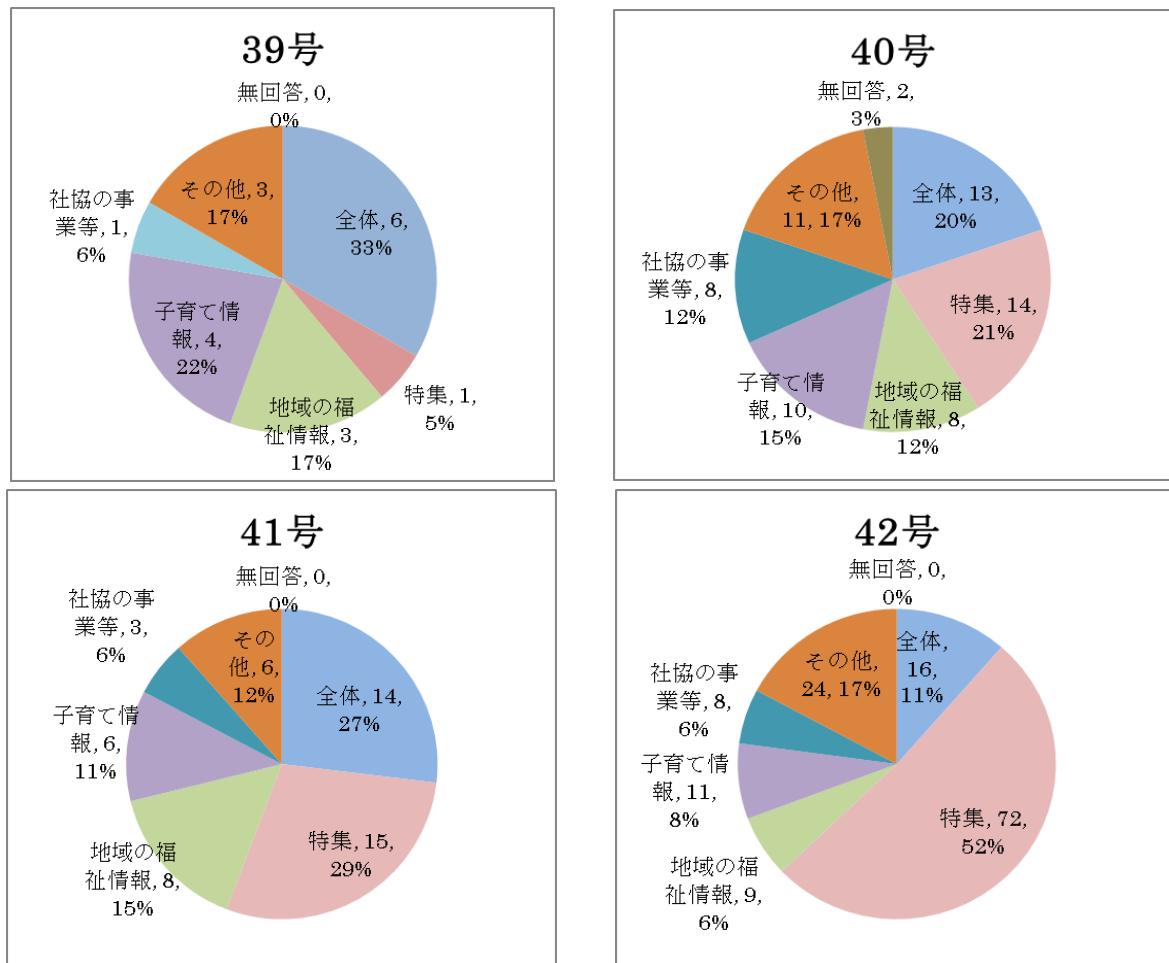
読者ニーズに応える

特集記事内容	
39号	みんなで地域福祉を実践してみよう！
40号	社協ってなあに？—これだけはおさえておきたい3つのポイント—
41号	地域を元気にするホットなあかいはね女子！
42号	終活準備、始めていますか？—健康なうちにしておきたい4のこと—

《ご意見投稿者 年代別グラフ》



《コメントの件数》



今年度は、地域福祉活動計画の紹介を特集記事にした39号の投稿数が13件だった一方、終活を特集記事にした42号の投稿数が121件となり、投稿数に大きな差がみられました。

特集記事に関するコメント件数の割合を見ると、39号では5%でしたが、42号では52%となっており、特集記事の内容が読者の反響の有無に大きく影響し、読者にとって身近な情報ほど関心が高く、読んでもらえるという傾向が顕著に表れた結果となりました。

投稿者の年代層は、40代から60代が約半数を占めており、10代・20代は約1割となっていますが、子育て情報にも一定の割合でコメントの件数を得ており、若い世代にもかけはしが定着しつつあると考えられます。

来年度も、幅広い世代に関心を持って読んでもらえる広報誌づくりを行います。

(2) 社協キャラクター「オルデ」の有効活用

社協の更なる認知度アップのため、社協キャラクター「オルデ」を積極的に活用しました。「社協の顔」として、広報誌『かけはし』や事務局通信だけでなく、チラシや公文書などの印刷物や社協ホームページ、ひまわりセンター館内の案内板などにも「オルデ」を使用することで多くの方に目に留まりやすくなり、社協の広告塔として広報に大きく貢献し、「オルデ=社協」のイメージの更なる定着につなげることができました。

(3) プレスリリースマニュアルの整備

これまで各担当者が独自に行っていた報道機関への投げ込みの方法を見直し、プレスリリースマニュアルを整備しました。

本会の活動をより多くの方々に知ってもらい、参加してもらうためには、新聞・テレビ等のマスメディアを効果的に活用することが重要です。マニュアルに沿ってプレスリリースを行い、管理するとともに、報道関係者の目を引き、取材したくなるようなプレスリリースができるようテンプレートを作成したことで、戦略的・効果的な広報活動を行いました。



ホームページのトップページ



ひまわりセンター案内板